

令和6年度防府市社会福祉事業団事業報告

I. 役員等就任状況

1. 理事・監事状況 (任期:選任後2年以内に終了する会計年度(令和6年度)のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで)

年 月 日	氏 名	役職名	事項	備 考
令和6年 4月 1日	森 重 豊	理 事 長	就任	選任後2年以内に終了する会計年度(令和6年度)のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
〃	島 田 文 也	常務理事	〃	〃
〃	石 田 和 雄	理 事	〃	〃
〃	長 尾 隆 治	〃	〃	〃
〃	山 本 一 成	〃	〃	〃
〃	山 崎 元	〃	〃	〃
〃	石 丸 時 江	〃	〃	〃
〃	中 村 信 也	監 事	〃	〃
令和6年 4月22日	藤 井 一 郎	理 事	就任	〃 (前任者の残任期間)
〃	國 澤 明	監 事	〃	〃

2. 評議員状況

任 期:選任後4年以内に終了する会計年度(令和6年度)のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで)

年 月 日	氏 名	役職名	事項	備 考
令和6年 4月 1日	松 田 啓 示	評 議 員	就任	選任後4年以内に終了する会計年度(令和6年度)のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
〃	松 田 和 彦	〃	〃	〃
〃	藤 本 尚 志	〃	〃	〃
〃	乾 誠	〃	〃	〃
〃	田 村 多 峰 男	〃	〃	〃
〃	山 本 悟	〃	〃	〃
〃	倉 員 祥 子	〃	〃	〃
令和6年 4月17日	熊 野 博 之	評 議 員	就任	〃 (前任者の残任期間)
〃	石 井 朋 子	〃	〃	〃
令和7年 3月31日	石 井 朋 子	評 議 員	退任	

Ⅱ. 議案決議事項

1. 理事会議案決議

議案 番号	件 名	決議年月日
4	社会福祉法人防府市社会福祉事業団理事及び幹事の候補者の推薦について	令和6年 4月10日
5	社会福祉法人防府市社会福祉事業団評議員の候補者の推薦について	〃
6	社会福祉法人防府市社会福祉事業団評議員選任・解任委員会の招集について	〃
7	令和5年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団事業報告について	令和6年 6月12日
8	令和5年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団収支決算について	〃
9	令和6年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団補正予算について	〃
10	社会福祉法人防府市社会福祉事業団表彰規則による被表彰者の選考について	令和6年 7月25日
11	令和6年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団補正予算について	令和6年12月26日
12	社会福祉法人防府市社会福祉事業団役員等報酬及び費用弁償規則中改正について	〃
13	防府市社会福祉事業団職員給与規則中改正について	〃
14	防府市社会福祉事業団限定職員給与規則中改正について	〃
15	防府市社会福祉事業団特別雇用職員給与規則中改正について	〃
16	社会福祉法人防府市社会福祉事業団就業規則中改正について	〃
17	社会福祉法人防府市社会福祉事業団限定職員就業規則の廃止について	〃
18	防府市社会福祉事業団限定職員給与規則の廃止について	〃
1	令和6年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団補正予算について	令和7年 3月17日
2	令和7年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団事業計画について	〃
3	令和7年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団予算について	〃
4	社会福祉法人防府市社会福祉事業団職員就業規則中改正について	〃
5	防府市社会福祉事業団育児・介護休業等に関する規則中改正について	〃
6	防府市社会福祉事業団職員給与規則中改正について	〃
7	防府市社会福祉事業団特別雇用職員給与規則中改正について	〃
8	社会福祉法人防府市社会福祉事業団経理規則中改正について	〃
9	社会福祉法人防府市社会福祉事業団主要職員の任命について	〃

2. 評議員会議案決議

議案 番号	件 名	決議年月日
4	社会福祉法人防府市社会福祉事業団理事及び監事の選任について	令和6年 4月22日
5	令和5年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団収支決算について	令和6年 6月27日
6	令和6年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団補正予算について	〃
1	令和6年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団補正予算について	令和7年 1月 9日
2	社会福祉法人防府市社会福祉事業団役員等報酬及び費用弁償規則中改正について	〃
3	令和6年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団補正予算について	令和7年 3月27日
4	令和7年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団事業計画について	〃
5	令和7年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団予算について	〃

Ⅲ．事務局及び各施設事業実績報告

感染症に対する生活様式も元に戻りつつある中、施設において多少の感染症が発生しました。しかし、その都度職員の迅速な対応により感染拡大を適性に防止しています。これにより、感染症対策を講じながら各行事を開催することができました。

令和6年度中の正規職員新規採用者4名、退職者8名となりましたが、内3名は、定年退職者で再雇用となっております。少子高齢化が進む昨今において深刻化している人材不足に対して、給与制度や労働環境の適正を図り、選ばれる法人を目指しました。職員待遇において、給与制度等の改正に適切に対応し待遇改善を実施しました。職員採用状況では、昨今の人材不足により正規、非正規を問わず職員の確保には、依然困難を極めている状況が続いています。このため、職員の待遇改善や福利厚生の充実を図っています。また、職員の定着への取り組みとして新任職員研修をはじめとする内部研修の充実、各種専門職研修等外部研修への積極的参加を推進しました。利用者支援では、虐待防止の徹底、常に利用者やその家族の視点に立った支援の提供を目指し、利用者の安心・安全を前提としたの質の高い支援サービス向上に取り組みました。

経営全般では、自立経営のための取り組みとして適時、組織体制の整備や改善を図るとともに健全な経営基盤の確立のための経営努力を継続しています。

1．事務局

法人業務である理事会・評議員会の適正な運営や、実施事業の透明性、経営の効率化、収益率の向上を図り、施設管理業務の円滑な事業推進に努めました。

また、利用者支援サービスの向上のため法人内施設及び自治体及び関係機関との連携強化を継続し、研修・会議等の調整を図りました。

事業団の使命を十分果たせるよう、次の事項に重点をおいて健全経営の推進に努めました。

◎適正な事業運営と経営自立化の推進

経営基盤の構築に向けて業務適正化や効率化を図るため引き続き特定施設のモニタリングによる事業改善の実施、市障害福祉課との情報共有機会を強化することで法人及び施設・事業所の経営自立化推進に努めました。

◎福祉拠点機能の推進と地域貢献

地域における公的な取り組みのため、引き続き市内の福祉施設・事業所及び自治体との、連携、調整に努めました。また、防府市社会福祉施設連絡協議会事務局として協議会の調整や取り組みに努めました。

◎魅力ある職場づくり

働きやすい魅力ある職場への取り組みとして職員の年次有給休暇取得の推進をはじめ育児休業等雇用制度の活用の実施、夏季休暇の付与や子育て支援等による夏季時間差勤務を実施。雇用形態別の業務内容や業務量の適正化の推進を継続し、職員の職場環境の改善及び事業の円滑な運営に努めました。

◎事業団施設の連携した取り組み

法人内の連携による共通課題の抽出及び課題解決に積極的に取り組みました。特に、個別の課題や問題については、状況等情報の共有に努め迅速に対応しました。また、人的共有については、専門職による業務援助や緊急時の職員派遣の調整に努め効率かつ安定的な組織運営に取り組みました。地域生活支援では、施設の資源や機能を活用することでセーフティネット機能の役割を果たし経営の安定と充実に図り利用者の支援向上に努めました。

◎関係機関との連携

福祉・保健・医療の関係機関や行政と連携を図り、地域に開かれた施設として、各種会議に参加し地域福祉活動への取り組みを通して地域福祉の充実に努めました。また、保護者との連携強化を継続して推進し、利用者・保護者からの苦情・要望に対し、自治体および関係機関と連携し、改善を図ることで安心できる施設づくりの推進を継続しました。

◎人材育成・定着、専門性の向上

各種研修等による、職員個々のスキルアップの増進に努めました。施設内研修の推進、外部の専門職研修への参加を調整し人材育成・専門性の向上を図りより利用者の立場に立った支援繋げられるように努めます。また、やりがいを持って働き続けられるよう職場環境を構築して、その人材の定着を図りました。

施設名	防府市愛光園
-----	--------

主な実施事業	生活介護
	就労継続支援 B 型
	就労移行支援

1 事業実施状況(総括)

新型コロナウイルス感染 5 類感染症へ移行後も、園内においては陽性者が数名見られましたが、クラスターが発生すること、休園することはありませんでした。引き続き、感染予防には注視しつつ通常の行事等も再開してまいりました。就労では新たな取引先の開拓など情勢の変化に対応できるように努めてまいりました。また、生活介護では、感染対策の徹底を図りながら、日々の生活の充実を意識し支援に取り組んでまいりました。

2 事業別実施状況(実施内容・成果・評価)

① 生活介護事業

利用者に、潤いのある時を過ごしていただくよう、レクリエーション、創作活動の他に、散歩、ストレッチ及び生産活動などを実施しました。特に、日常生活を過ごす上で、必要とされる身体機能の維持・向上に努めるため、利用者のニーズを確認してストレッチや散歩の機会を増やし、積極的に身体を動かしていただきました。また、希望される方のシャワーを行うなど、日常生活に必要な支援を提供しました。

引き続き、理学療法士による指導と健康運動指導士によるストレッチ体操でのアドバイスを生かし、日々の活動に簡単な運動を取り入れ、生活動作の改善などを図りました。

なお、令和 6 年度は、12 名の定員に対し、年度途中 4 名減となり 14 名の在籍となりました。また、前年度に比べ開所延べ日数が 2 日減、利用延べ人数が 108 名減、日々の平均利用者数は 7.51 名（前年度 7.89 名）となりました。

② 就労継続支援 B 型事業

通所による福祉的就労や生産活動の機会とより自立した日常生活を営むことができるよう就労能力や工賃の向上を目指した支援の提供を行いました。

園芸及び陶芸の自主生産品の生産・販売を行いました。園芸においては、農福連携事業により、J A の技術指導を受け、直売所での販売をすることで、売上がさらに向上しました。陶芸においては陶芸家による指導などにより、よりよい製品作りを目指しました。防府コンベンション協会よりベンチの塗装の新たな作業を受注し利用者の作業の幅を広げることができました。

また、総合支援学校の実習を積極的に受け入れ、将来の利用者増につながるよう努めました。

なお、令和 6 年度は、42 名の定員に対し、年度途中 2 名増 7 名減となり 40 名の在籍となりました。開所延べ日数は 2 日減、利用延べ人数が 148 名減、日々の平均利用者数は 32.92 名（前年度 33.25 名）でした。就労収益について、収入は前年度の 9,626,093 円から 9,219,314 円と減少しましたが、経費削減の取り組みにより平均工賃額も前年度の 18,905 円から 19,070 円と増加しました。

③ 就労移行支援事業

一般就労に向けた就労移行プログラムを実施し、4 月から 1 名の利用者と契約し契約者は 1 名で作業に取り組むとともに、登園の習慣と仕事をするという意欲を高めるための支援を行いました。また、今後の支援につなげるためにも、支援学校の実習生を積極的に受け入れました。

就労移行プログラムに取り組むことで、就労に対する意識改善などができました。

なお、令和 6 年度は、6 名の定員に対し、1 名の在籍と 2 名の暫定利用でした。開所延べ日数は 2 日減、利用延べ人数が 179 名減、日々の平均利用者数は 1.04 名（前年度 1.75 名）でした。

3 取り組み報告

① 人権擁護の徹底

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
人権尊重と虐待防止の意識の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・人権侵害に関する自己チェックの実施 ・虐待防止の自己チェックの実施 ・虐待防止マニュアルの周知徹底 ・虐待防止・身体拘束委員会の開催 ・利用者満足度調査の実践 ・外部研修への職員の派遣 ・虐待防止・権利擁護研修の実施 ・身体拘束適正化のための指針の運用 ・身体拘束排除マニュアルの周知徹底 ・身体拘束等の適正化への研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月、9月、3月に実施した ・6月、9月、3月に実施した ・6月、9月、3月に実施した ・2月に開催し、利用者満足度アンケートの内容などから、虐待防止に関することを共通認識した ・1月に利用者と保護者それぞれにアンケートを実施し、要望などについては、随時、支援に取り入れた ・1/31 山口県知的障害者福祉協会虐待防止徹底研修会に参加した ・人権侵害ゼロへの誓い宣言書及び倫理綱領の読み合わせを実施し、2月にグループワーク形式での虐待防止内部研修を実施した ・指針に基づき、検討委員会・職員研修を実施した ・職員会議に合わせて実施した ・指針に基づき、検討委員会・職員研修を実施した
苦情・相談への適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情の受付、受付箱の設置 ・アンケートの受付・実施・報告 ・苦情解決委員会の開催 ・解決が難しい場合は第三者委員への報告及び判断を仰ぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・受付箱を設置し、随時受付を行った ・1月に苦情受付用紙を利用者に配布し、記入・提出していただいたが、大きな苦情はなかった 細かな要望については、随時、支援に取り入れた ・2月に開催した ・本年度はなかった
障害者差別解消法への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・職場研修の実施 ・外部研修への職員派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議に合わせて実施した ・山口県知的障害者福祉協会虐待防止徹底研修会に参加した(1/31)
利用者の財産の適正な管理と権利の行使	<ul style="list-style-type: none"> ・管理方法の確認と適切な行使の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の紹介を行った

② 支援・サービスの向上

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
安心・安全な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの実施 ・ヒヤリハットの検証と事故につながる原因の改善 ・感染症の研修 ・個人情報管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故報告の事例を検証し、再発防止に努めた ・ヒヤリハット報告書の作成を促し、検証を行う体制を整えた ・感染症予防対策マニュアルの整備を行った ・記録開示請求の承諾書を作成し、管理の徹底を行った

支援技術の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・職場研修の実施 ・外部研修への職員派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援会議、生活支援会議に合わせて実施した ・サビ管、相談研修などに参加した
提供サービスの点検	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの自己評価の実施 ・利用者満足度調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施に向け、検討している ・2月に実施し、内容を検討して、支援に組み込んだ
生活環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・嗜好調査の実施 ・環境美化の実施（備品・管理・清掃他） 	<ul style="list-style-type: none"> ・11月に実施した結果を検討し、給食内容に反映させた ・重点場所の設定を変え実施した（1回/月） また、10月に保護者の協力により、周辺整備を行った
創意工夫による業務の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善活動 ・職員提案制度の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援会議・生活支援会議・職員会議に合わせて実施した ・就労支援会議・生活支援会議・職員会議に合わせて実施した
地域と利用者の交流促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加 ・地域小中学校との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域盆踊り・地区文化祭に参加した ・新型コロナウイルス感染拡大以降、地域行事はほぼ中止となった
セーフティネット機能の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・退園者の動向把握と必要に応じたサービスの調整 ・相談支援事業所と通じた情報収集と他機関と連携した支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・動向把握のため、相談支援事業所との情報共有を行った ・相談支援事業所との情報共有を心掛けた
地域生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、個別支援計画に基づいて、地域移行等を進める ・就労後の職場定着のための支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所と連携し、施設変更等に対応した ・本年度はなかった
個人情報保護の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・職員倫理綱領及び情報公開規程の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員倫理綱領の読み合わせを実施した（毎月）

③ 施設機能の地域提供

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
社会資源としての地域提供	<ul style="list-style-type: none"> ・地域小中学校での研修会への講師派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大以降、中止となった
ライフステージに対応したサービス調整	<ul style="list-style-type: none"> ・支援提供者との連絡会議 ・施設見学 ・支援学校等の実習受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に防府総合支援学校の進路懇談会に参加した ・2月に防府総合支援学校の個別の進路相談会に参加した ・県立大学学生施設見学（2/14） ・防府総合支援学校教員施設見学（8/5） ・防府総合支援学校高等部1年施設見学（8/6） ・防府総合支援学校実習生受け入れ（6/10, 13, 14, 17, 20, 21） ・防府総合支援学校暫定利用受け入れ（10/28～11/8） ・防府総合支援学校実習生受け入れ（11/11～28）

		<ul style="list-style-type: none"> ・防府総合支援学校暫定利用受け入れ（2/10～21） ・防府総合支援学校暫定利用受け入れ（2/17～28）
多様な福祉サービス事業の提供	・利用者の意向を尊重した福祉サービスの提供	・施設外就労の実施及び振り返りを通じて、多様な支援の提供に努めた

④ 地域とのコミュニケーション

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
地域への情報発信と協力	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりの発行 ・ホームページ記事の掲載 ・地域とのイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日に発行し、保護者様への情報提供を行った ・記事の更新はなかった ・地元公民館文化祭出店、地元郵便局で陶芸品の委託販売を行った
参画・政策提言	・防府市総合支援協議会への参加	・就労支援部会、研修部会に参加した
地域貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・まつりの実施への検討 ・地域行事へのバザー出店 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は実施できなかった ・地域盆踊り・地区文化祭にバザーを出店した

⑤ 人材の確保・人材の育成

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
人材育成のための関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士、保育士養成校からの実習生受け入れ ・介護棟体験の実習生受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度はなかった ・本年度はなかった
職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・個別人材育成計画に基づいた研修の実施 ・職場内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業団として、新任研修を行った ・就労支援会議、生活支援会議に合わせて実施した
教育研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修への積極的参加 ・理解度に応じた再研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・サビ管、相談研修、虐待防止・権利擁護研修などを受講した ・理解度に応じた資料の提供を行った

⑥ 魅力ある職場づくり

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
ワークライフバランスへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇の取得促進 ・夏季休暇の100%取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由取得の呼びかけをし、取得の推進を図った ・盆休みを実施するなどして、100%取得した
自己啓発の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得の推奨 ・自己啓発研修参加への勤務配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得の呼びかけをした ・相談があった場合は、勤務への配慮を行った
風通しのよい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・役付き職員による計画的な面談等の実施 ・他事業所との勤務連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長によるヒアリングを11月に実施した ・防府市大平園、防府市なかよし園との情報共有に努めた
職員体制・連携強化への取り組み	・業務を精査し必要などころに職員を重点的に配置	・計画会議で個々の業務量を精査し、来年度の業務分担に反映した

⑦ 経営基盤の安定・強化

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
経営改善のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・経費削減への取組 ・総合支援学校の実習生や見学者の受け入れによる契約者の増加 ・ニーズと利用率の上昇 ・加算の精査による収入の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・経費削減に努めた ・総合支援学校からの実習を積極的に受け入れ、将来の利用者増に努めた ・利用の相談には、積極的に応じた ・新たな加算を算定した
経営意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・経営分析の実施 ・会議で利用状況、収支報告の情報の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・収支の分析を行った ・毎月、職員会議にて収支報告を行った
予算管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・収入と支出の管理 ・就労会計における収入と支出の精査による工賃向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な管理を行った ・各作業の収入と支出の精査を行った

⑧ コンプライアンスの徹底

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
コンプライアンスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスについての意識付けを図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援会議、生活支援会議、職員会議に合わせて、意識付けを行った
労務管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・業務手順での事務処理対応時間の明示 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン環境の整備やケース入力内容の簡略化など、事務処理の効率化を図った

⑨ 防災・防犯対策の強化

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
定期の防災訓練、防犯訓練実施	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施（1 回/月） ・2 次災害を想定した避難訓練 ・防犯訓練の実施 ・防犯に係る安全確保のための施設設備面の方策を講じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに実施した ・2 次災害を想定したシミュレーションを行った ・2 月に実施した ・防犯用具の確認、整備をし、特に生活介護棟での用具や避難経路の確認を行った
災害協力・安全協力体制の推進と整備	<ul style="list-style-type: none"> ・合同防災訓練の実施 ・地域防災組織との連携強化 ・地域との協同による防犯意識の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・防府市愛光園・防府市なかよし園合同の防災訓練を実施した ・土砂災害情報伝達訓練を実施した ・情報の共有に努めた

⑩ その他

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
定期の防災訓練、防犯訓練実施	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続計画（BCP）の検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続計画（BCP）の読み合わせを行った

4 利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日 在籍	生活介護(12)	18	18	18	18	18	17	16	16	15	15	15	15	199
	就労継続B(42)	45	45	44	43	43	43	43	44	44	44	43	43	524
	就労移行(6)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	計(60)	64	64	63	62	62	61	60	61	60	60	59	59	735
開所日数		21	22	23	22	就労18 生活17	就労19 生活20	23	20	21	20	18	20	247
利用 延べ 人数	生活介護(12)	176	175	171	184	134	130	175	146	157	146	126	137	1,857
	就労継続B(42)	746	758	744	707	590	613	766	680	674	624	583	647	8,132
	就労移行(6)	21	22	22	18	18	19	26	22	21	16	34	19	258
	計(60)	943	955	937	909	742	762	967	848	852	786	743	803	10,247

5 主な事業の利用率

事業名	定員(人)	利用延べ人数(人)	利用率(%)	備考
生活介護	12	1,857	62.65	前年度比：94.5%
就労継続B型	42	8,132	78.38	前年度比：98.2%
就労移行	6	258	18.01	前年度比：59.0%

6 実施行事及び参加行事

実施日	実施・参加行事	参加人数(人)	備考
4/1 (月)	花見	49	
5/18 (土)	保護者会親睦会	33	休日開所
6/1 (土)	防府市障害者体育大会	16	休日開所
6/16 (日)	ナイスハート・ふれあいの集い	29	休日開所
6/29 (土)	山口県知的障害関係親睦球技大会	23	休日開所
7/20 (土)	まりふ福祉まつり	-	
8/12 (月)	木部地区盆踊り大会	-	
8/24 (土)	利用者旅行・就労	30	休日開所
9/7 (土)	利用者旅行・生活介護	7	休日開所
9/7 (土)	防府市総合社会福祉大会	-	
9/22 (日)	中国地区障害関係親睦球技大会	3	休日開所
10/19 (土)	ライオンズクラブ招待	31	休日開所
10/20 (日)	牟礼地区文化祭	-	
10/26 (土)	防府総合支援学校文化祭	-	
10/27 (日)	塩田まつり	-	
12/21 (土)	クリスマス会	27	
12/21 (土)	障害者ふれあい芸術展	-	

12/27（金）	茶話会（年末仕事納め）	37	
1/11（土）	初詣	31	休日開所
3/31（月）	茶話会（年度末仕事納め）	41	

7 地域貢献活動、職員研修等について

牟礼郵便局での干支土鈴の委託販売や牟礼地区文化祭等で、当園を地域の方に知っていただけるよう努めました。

研修については、内容を検討して積極的に参加しました。

（職員研修状況・外部研修）

- ・防府市地域総合支援協議会研修部会（4/3）
- ・中国地区知的障害関係施設長会議（4/18～19）
- ・防府市地域総合支援協議会研修部会（5/8・5/10・5/15）
- ・障害者福祉施設基礎コース（5/15・5/22）
- ・防府市地域総合支援協議会研修部会（5/28）
- ・防火管理講習（5/29～30）
- ・防府市地域総合支援協議会研修部会（6/14・6/19）
- ・防府市地域総合支援協議会就労部会（6/25）
- ・知的障害者福祉協会中四国職員研究協議会（7/4～5）
- ・就労支援事業会計の運用ガイドライン研修（7/10）
- ・防府市地域総合支援協議会研修部会（7/12・7/17・8/8・8/9）
- ・知的障害者福祉協会生産活動・就労支援部会（8/20）
- ・防府市地域総合支援協議会研修部会（8/21）
- ・福祉研修センターレクリエーション研修（8/26）
- ・福祉研修センター福祉施設アドバンスコース研修（8/28）
- ・福祉研修センターチームリーダー研修（9/11～12）
- ・防府市地域総合支援協議会研修部会（9/13）
- ・防府市地域総合支援協議会事例検討会（10/4）
- ・福祉研修センターチームリーダー研修（10/15～16）
- ・サービス管理者実践研修（10/16～17）
- ・防府市地域総合支援協議会研修部会（10/16）
- ・つながるノウフク実践研修会（10/16）
- ・防府市地域総合支援協議会就労支援部会推進会議（10/22）
- ・防府市地域総合支援協議会研修部会（10/23）
- ・強度行動障害研修（10/23～24）
- ・福祉研修センターソーシャルワーク研修（10/28～29）
- ・防府市地域総合支援協議会研修部会（11/8）
- ・防府市地域総合支援協議会研修部会コア会議（11/20）
- ・福祉研修センター障害者福祉施設基礎コース（11/27）
- ・福祉研修センター職場研修担当職員研修（11/28）
- ・防府市地域総合支援協議会研修部会定例会（12/13）
- ・防府市地域総合支援協議会研修部会コア会議（12/18）
- ・防府市地域総合支援協議会・研修部会（1/15）
- ・防府市地域総合支援協議会・就労支援部会学校見学会（1/17）
- ・防府市地域総合支援協議会・研修部会コア会議（1/22）
- ・山口県知的障害者福祉協会・就労選択支援研修（1/30・1/31）
- ・山口県知的障害者福祉協会・障害者虐待防止徹底研修会（1/31）
- ・防府市地域総合支援協議会・事例検討会（2/7）
- ・防府市地域総合支援協議会・研修部会コア会議（2/19）
- ・やまぐち農福連携情報交換会（3/12）
- ・防府市地域総合支援協議会・研修部会コア会議（3/14）

施設名	防府市大平園
-----	--------

主な実施事業	生活介護
	施設入所支援
	短期入所支援
	日中一時支援

1 事業実施状況(総括)

利用者の方の個別支援計画に沿って、日常生活全般にわたる支援を実施しました。

新型コロナウイルスによる制限もほぼ無くなり、行事への参加、短期入所や日中一時支援の受け入れなど、コロナ以前の状況に戻ってきました。そのような中、9月と11月に新型コロナウイルスの感染が発生しましたが、感染症防止対策や感染時の対応準備を継続していたことにより、適切に事業を継続することができました。

周南市による障害者虐待に関して調査が実施され、その後「障害福祉施設従事者等による障害者虐待に関する事実確認の結果について（改善計画書提出依頼）」の通知がありました。当時、周南市が受給決定している利用者について、転倒リスクに対して適切な対応がとれていなかったなどの理由により「利用者の特性に応じた支援技術の向上」、「施設での事故防止のための取り組み（転倒が多い利用者について支援方法や環境整備についての検討）」の2点を改善するよう指導がありました。これを受け、職員アンケートの実施や研修の充実等虐待防止の強化推進に取り組んでいます。

2 事業別実施状況(実施内容・成果・評価)

① 生活介護事業

年齢が50歳以上の利用者が多い状況のため、身体機能の維持向上の一環として軽運動や園舎周りの歩行運動など機能訓練を中心とした支援に積極的に取り組みました。また、身体機能の低下が顕著な利用者には、理学療法士からアドバイスをいただき、効果的な運動を個別に実施しました。

日帰り旅行や誕生日外食、季節のイベントなど行事を積極的に実施し、利用者に非日常的な環境を提供し、生きる楽しみとして感じていただけるよう事業を行いました。また、地区文化祭や盆踊りなどの地域の行事に利用者の方も積極的に参加され、地域住民との交流を推進することができました。

② 施設入所支援事業

栄養ケアマネジメントや歯科定期健診を実施することで、食事を「食べる喜び」を実感できるよう支援を行いました。本年度より取り入れた歯科往診により、利用者それぞれに必要な口腔ケアが行われ、嚥下機能の維持にも役立っています。利用者の高齢化が進み、段差の解消や介護ベッドの導入など居室環境を整備するために教室の1室をフローリングに改修しました。これにより、車椅子や歩行器での出入りがスムーズになり、転倒リスクの軽減にもつながっています。

9月と11月に新型コロナウイルスの感染が確認されましたが、ゾーニングや食事体制など適切な対応をすることで、事業を継続することができています。

③ 短期入所支援事業

9月は園での新型コロナウイルス感染により受け入れができませんでした。全体的には、レスパイトケアのために定期的に利用される方も増加する傾向にありました。また、緊急事案での受け入れ要請があり、適切に対応しました。

④ 日中一時支援事業

9月は園での新型コロナウイルス感染により受け入れができませんでした。レスパイトケアのために定期的に利用される方もおられました。また、平日夕方の障害児の要望があり、12月から受け入れをいたしました。

3 取り組み報告

① 人権擁護の徹底

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
人権尊重と虐待防止の意識の徹底	・事業団職員倫理綱領及び防府市大平園行動基準の遵守	・随時、読み合わせを実施し、遵守に努めた園の行動基準は内容の検討も行い、現状に沿うよう変更した
	・人権・虐待防止セルフチェック(4回/年)	・計画通り、実施した
	・虐待防止・身体拘束適正化マニュアルの遵守	・虐待防止マニュアル、身体拘束防止マニュアルの周知を行い、虐待防止研修を3月に実施した
	・虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会の運営	・虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を10月に実施した
	・感染対策委員会の設置・運営	・感染対策委員会を設置した
	・支援計画作成過程などにおいて、合理的配慮について検討	・個別支援計画のモニタリング、プランの作成を実施し、その中で合理的配慮について意識して検討を行った(2回/年)
	・内部研修の実施	・虐待防止身体拘束研修を3月に実施 職員に事前レポートの提出を求め、実践的な研修ができた
	・権利擁護、虐待防止に関する外部研修への職員参加	・12月に虐待防止・権利擁護研修に参加した 伝達研修として、園内研修を3月に実施した
	・成年後見制度の利用の推進	・利用者の状態の変化などに応じて利用を推進した
苦情・相談への適切な対応	・利用者ミーティングの実施(1回/月)	・毎月、月末に各棟ミーティングを実施。同月の行事の様子、生活支援の取り組み、翌月の行事の予定などについて説明し、利用者から意見を聞いた
	・テーマを設置して利用者の意見を聴取(1回/月)	・あいあいミーティングとして毎月実施した
	・苦情および意見箱の設置	・意見箱の確認を行った(2回/月) 年間3件の苦情や意見について受付し、対応した
	・苦情についての協議内容及び対策方法については「利用者朝礼」及び「あいあいミーティング」において説明	・計画通りに実施した
	・「アンケート調査」を実施・報告	・計画通りに実施した 内容については、毎年度4月の意見交換会で身元引受人の方に説明
障害者差別解消法への対応	・内部研修の実施	・虐待防止研修など参加した外部等研修ごとの復命によりに内部研修を実施した
	・支援計画、モニタリング、事故分析等において、利用者への合理的配慮について検討	・モニタリングや毎月実施の事故報告で、利用者に配慮した環境改善や、支援内容を検討した(2回/年)

利用者の財産の適正な管理と権利の行使	・利用者の障害や特性及び必要な配慮を記したフェイスシートを適宜更新	・変更があれば、フェイスシートを更新し、モニタリング時にはアセスメント内容を確認した
	・外部研修への職員参加	・12月に、虐待防止・権利擁護研修に参加
	・管理方法の確認と快適な行使の徹底	・通帳や印鑑の管理を徹底し、常に支出など適正な管理に努めた
	・金銭管理委託契約書に基づき、貴重品を適正に管理	・適正に管理できた
	・毎月預り金の会計報告を作成し、帰省時に身元引受人の確認	・毎月預り金の会計報告書を作成し、帰省されない方など毎月の報告が困難なケースは、ケアプラン承認等で来園された時に報告し確認していただいた
	・利用者の私物購入及び管理については、利用者の意思を最優先	・利用者の意思を最優先し管理を行った 物品購入の選択希望を尊重し職員が丁寧に説明して納得して購入していただくよう努めた
	・成年後見制度の積極的な活用	・利用者の状態や環境の変化など、必要に応じて利用について説明を適時行った

② 支援・サービスの向上

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
安心・安全な支援の提供	・ヒヤリハット、事故報告の分析及び支援計画への取り込み	・事故報告書をその都度、作成し提出 月末に取りまとめて報告し再発防止について検討を行った ケアプラン会議でリスクを検討し、支援計画に反映させた
	・職員行動基準の読み合わせ	・随時、実施 併せて内容を検討し、現状に沿うよう変更を行った
	・看護師を中心とした健康管理	・看護職員が利用者の日々の健康状態を確認するとともに、利用者からの自覚症状の訴えや支援員からの情報提供によって、利用者の状態の変化や体調を把握し、適切な利用者の健康管理のため支援員への指導・助言を行った ・体調や症状に応じて通院と服薬支援を行った ・入院された場合には病院と適宜情報交換を行い、退院後も不安なく過ごせるよう工夫した
	・管理栄養士による栄養ケアマネジメントの実施	・栄養ケアマネジメントを行い食生活から利用者の健康の維持に努めるとともに、介護食器や個別に対応した食事環境を整えることで、スムーズな食事摂取を実現した
	・感染対策委員会の設置、運営	・感染症対策委員会を設置
	・防災、防犯について利用者説明するとともに、訓練を実施	・5月に、災害時の避難について説明 ・3月に、防犯訓練を実施
支援技術の向上	・外部研修への積極的参加及び報告の徹底	外部研修へ積極的に参加し、復命書は全職員に供覧し周知を図った

	・テーマを設定して内部研修を実施	・行動基準の内容に注視し、読み合わせだけではなく、内容の理解、検討を行った
提供サービスの点検	・支援計画及びモニタリング会議の実施（2回/年）	・計画通りに実施
	・支援に対する評価をアンケートにより実施（2回/年）	・計画通りに実施
	・次年度事業実施要項作成に向け、事業内容の評価及び検討を2月より計画会議として実施	・計画通りに実施
	・利用者満足度調査の実施（1回/年）	・12月に実施 内容を検討し、翌年度の計画に反映させた
	・身元引受人による施設の評価（1回/年）	・11月に実施 内容を検討し、翌年度の計画に反映させた
生活環境の充実	・個々の障害に合わせた日常生活用品の検討・導入	・利用者の方の使いやすさを第一に生活用品を検討し、必要なものは購入した
	・身体の状態に合わせ、ベッド、車いすや歩行器などの積極的導入	・利用者の身体の状態に合わせベッドや歩行器を設置した
	・既存のルールに拘らず、利用者が生活しやすいよう環境を改善	・女子棟の1室をフローリングに改装 歩行器を使用する方が動きやすいよう配慮した
	・施設内外の環境整備	・日々の掃除の徹底と環境整備を行った（1回/月）
創意工夫による業務の改善	・計画会議において、事業実施状況の評価及び検討を行い、業務効率化のための改善を実施	・2月より計画会議を実施し、業務の反省・評価を行い、新年度の事業実施要項に反映した
	・各棟会議により、実際に即した業務の改善を図る	・各棟会議を実施し、現状の把握と必要な支援を逐次検討し、業務の改善を図った
地域と利用者の交流促進	・地域行事への参加	・地区の盆踊りや地区文化祭へ利用者が参加した
	・一般事業主行動計画の策定及び実施	・計画の策定ができなかった
セーフティネット機能の推進	・短期入所支援及び日中一時支援を実施	・9月はコロナ感染拡大のため受け入れを中止したその月以外は、短期入所、日中一時を受け入れた
	・地域生活支援拠点等事業所として登録し、緊急な利用ニーズに対して柔軟な対応を行う	・緊急時利用の受け入れも行った
	・相談支援事業所等との連携	・相談支援事業所からの相談で、見学や契約などを行った
地域生活支援	・短期入所支援及び日中一時支援を実施	・在宅生活が難しくなった方など、短期入所での受け入れをした レスパイトケアを目的とした短期入所や日中一時のご利用が見られた

	・地域生活移行希望者には、関係機関と連携して調整	・利用者の方の希望に沿うよう、体制を整えた
個人情報保護の徹底	・職員行動基準の読み合わせ	・随時、行った
	・事業団倫理綱領の確認	・4月に実施した
	・個人情報の取り扱いに関する同意書と管理の徹底	・個人情報の開示については“個人情報の取り扱いに関する同意書”に沿うことの確認をした

③ 施設機能の地域提供

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
社会資源としての地域提供	・地域への公益的取り組みの検討	・計画の策定ができなかった
	・一般事業主行動計画の策定及び実施	・計画の策定ができなかった
ライフステージに対応したサービス調整	・土日祝日の日中一時支援による児童の受け入れ	・土日祝日の利用希望はなかった ・平日の児発終了後に利用希望があり、受け入れた
	・在宅障害者への入所年齢制限(65歳)の情報提供	・相談があった場合には、情報を提供した
多様な福祉サービス事業の提供	・地域生活支援拠点等事業所への登録	・登録をした
	・実習の受け入れ	・社会福祉士養成課程の実習を受け入れた

④ 地域とのコミュニケーション

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
地域への情報発信と協力	・ホームページの有効活用	・施設情報について、情報を発信した
参画・政策提言	・防府市総合支援協議会への参加	・防府市総合支援協議会研修会に参加した
地域貢献活動の推進	・地域の行事への共催など積極的参画	・地域の盆踊りや文化祭への運営に参加した
	・施設周辺の清掃(草刈・溝掃除等)	・施設周辺の草刈り、溝掃除などを行った

⑤ 人材の確保・人材の育成

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
人材育成のための関係機関との連携	・実習の随時受け入れ	・社会福祉士養成課程の実習を受け入れた
職員の育成	・支援計画及びモニタリング会議を通し、利用者支援を学ぶ	・それぞれの会議で、個別支援計画について意見の交換を行った

	・各部会（生活、日中活動、ゆとり）に所属し、所属した部会の活動及び会議に参画することで、活動の運営方法などを学ぶ	・状況に合わせた各部会の活動に、積極的に取り組んだ
	・行事の企画及び実施への参画	・園内行事の企画実施、外部行事への参加計画などを立案することで、企画力や実行力を身につけた
	・職員へのモニタリング(面談)の実施	・3月に、虐待に関する職員への面談を行った その他、随時、行った
教育研修の充実	・外部研修への参加及び報告の実施	・県社協福祉研修センター、知的障害者福祉協会の研修を中心に、積極的に参加した 報告を職員会議で行い、復命書は供覧した。
	・内部研修の実施	・終礼後に、随時、行った

⑥ 魅力ある職場づくり

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
ワークライフバランスへの配慮	・年次有給休暇を取得しやすい環境づくり（目標取得率60%）	・業務に支障がない限り、自由にとれるシステムになっているが、人員の問題で業務に支障がでるため取れない状況があった
	・夏季休暇の100%取得	・100%取得した
	・勤務配慮（柔軟な勤務交代など）	・業務に支障がないよう、柔軟に対応した
自己啓発の促進	・各資格取得の推奨と協力	・資格取得希望があった時は勤務に配慮した
風通しのよい職場づくり	・実習生の積極的な受け入れ	・社会福祉士養成課程の実習を受け入れた
	・ボランティアの受け入れ	・演奏やノンバーバルコミュニケーションなどのパフォーマンスをして頂いた
職員体制・連携強化への取り組み	・他事業所との積極的な連携	・必要時には連携できるよう、心掛けた
	・柔軟な職員配置の検討(早出・遅出)	・必要時には、早出・遅出を時間外勤務で対応した

⑦ 経営基盤の安定・強化

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
経営改善のための取り組み	・利用率の増加	・本年度は入所者が5名、退所が2名 そのため、昨年度より利用率は増加した
	・経費削減の取り組み	・設備の老朽化による修繕や新型コロナウイルス感染クラスター対策のための衛生用品の経費などが必要な状況だった また、利用者数の増加や電気料、ガソリン代の高騰など、経費削減が難しい状況だった
	・生活用品の管理	・生活用品の使用状況について、担当部会で使い過ぎがないようチェックした

経営意識の醸成	・終礼等で利用状況及び収支の報告	・利用者増や支援区分変更による報酬の変化について説明した
	・事業計画及び予算書の回覧による、情報の共有	・回覧後、常時、閲覧できるようにした
	・事業報告及び決算書の回覧による、情報の共有	・回覧後、常時、閲覧できるようにした
予実管理の徹底	・終礼等で利用状況及び収支の報告	・利用者増や支援区分変更による報酬の変化について説明した
	・予算書及び決算書を回覧し、情報の共有	・予算書及び決算書は、回覧後、常時、閲覧できるようにした

⑧ コンプライアンスの徹底

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
コンプライアンスの推進	・事業理念及び倫理綱領の遵守	・随時、読み合わせを行った
	・事業団ハラスメントの防止に関する規程の周知	・事業実施要項に記載し、4月に確認した職員室内に相談員名を掲示した
	・職員行動基準の順守	・随時、読み合わせを行った 内容の検討も併せて行い、現状に沿うよう変更も行わない
労務管理の徹底	・休憩取得実績の報告	・毎月、休憩取得実績報告書を提出し、休憩時間の管理をした
	・時間外勤務申請の事前提出とその報告	・事前申請を行ったが、緊急時については、口頭による申請を受けた
	・定時退社できるような業務体制の維持	・人員の不足により、業務量が増加している職員があり、定時退社が難しい状況があった

⑨ 防災・防犯対策の強化

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
定期の防災訓練、防犯訓練実施	・避難訓練の実施(地震想定を含む)(1回/月)	・計画通りに実施した
	・自治体と連動した実働避難訓練(土砂災害)の実施	・6月に伝達訓練を行った
	・防犯訓練の実施(1回/年)	・3月に実施した
災害協力・安全協力体制の推進と整備	・防府市愛光園、防府市なかよし園との合同避難訓練の実施(1回/年)	・10/29に予定されていたが、コロナウイルス感染のため、防府市大平園は参加できなかった
	・防府市愛光園、防府市なかよし園との合同防犯訓練の実施(1回/年)	・実施できなかった

⑩ その他

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
事業継続計画(BCP)の確認	・事業継続計画(BCP)の確認及び調整	・変更を確認し修正した

4 利用状況

①利用者月別在籍状況（入所支援／生活介護：男 20 女 20）（短期入所：男 2 女 2）

（単位 人・日）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日在籍	男	17	17	17	19	19	20	20	20	20	20	19	19	227
	女	16	16	17	16	16	17	17	17	17	17	17	17	200
	計	33	33	34	35	35	37	37	37	37	37	36	36	427
施設入所	開所日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	利用延べ人数	933	959	946	1,000	1,056	1,029	1,082	1,023	1,051	1,003	963	1052	12,097
生活介護	開所日	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
	利用延べ人数	612	640	629	657	700	756	707	680	705	663	614	685	8,048
短期入所延べ日数		58	53	55	50	16	0	18	20	18	25	28	51	392
日中一時支援延べ日数		13	14	13	13	14	0	11	8	14	20	20	26	166

5 主な事業の利用率

事業名	定員(人)	利用延べ人数(人)	利用率(%)	備考
生活介護	40	8,048	74.8	前年度比：102.4%
施設入所	40	12,097	82.6	前年度比：108.0%
短期入所	4	392	26.8	前年度比：119.9%
日中一時	—	166	—	前年度比：176.6%

6 実施行事及び参加行事

実施月	実施・参加行事	参加人数(人)	備考
4月	花見	利用者全員	園主催
5月	端午の節句	利用者全員	園主催
	園内のど自慢大会	利用者全員	園主催
6月	市障害者体育大会	希望者	市社協主催
	ナイスハート～ふれあいの集い～	希望者	自動車総連主催
	ボウリング招待	希望者	市ボウリング協会
7月	七夕	利用者全員	園主催
	まりふ福祉まつり	職員	
8月	地区盆踊り大会	希望者	上木部・下木部地区
10月	月見の会	利用者全員	園主催
	交通安全教室	利用者全員	園主催・交通安全協会
	愛とふれあいの集い	利用者全員	防府ライオンズクラブ
	ハロウィンの集い	利用者全員	園主催

11 月	上木部文化祭	希望者	上木部地区主催
12 月	日帰りバス旅行（萩・長門）	利用者全員	園主催
	クリスマス会	利用者全員	園主催
1 月	書初め	利用者全員	園主催
	どんど焼き	利用者全員	園主催
	初詣	利用者全員	園主催
2 月	節分	利用者全員	園主催
	バレンタイン	利用者全員	園主催
	ナンバーバルコミュニケーションワークショップ	利用者全員	自動車総連
3 月	ひな祭り	利用者全員	園主催
	ホワイトデー	利用者全員	園主催

7 地域貢献活動、職員研修等について

職員研修については、WEB での研修も含め、積極的に参加しました。

参加実績は以下のとおりです。

- ・知的障害者福祉協会（福祉振興大会、施設長会、新人研修、中堅職員研修、医療保健部会研究会、給食部会研究会、障害者支援施設日中活動支援部会研究会、支援スタッフ部会研究会、障害者虐待防止徹底研修会）
- ・応用行動分析（ABA）に基づく自閉症児・者への対応法研修会
- ・障害者差別解消法に係る事業者向け説明会
- ・精神障害者支援の障害特性と支援技法研修
- ・メンタルヘルスマネジメント研修
- ・社会福祉士実習指導者フォローアップ研修会
- ・看護・保健担当諸君研修
- ・給食担当職員研修
- ・特定給食施設等研修
- ・福祉施設基礎コース（新任職員研修）
- ・キャリアパス対応（初任者、中堅職員、管理職員）コース
- ・強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）
- ・県総合社会福祉大会
- ・障害者虐待防止権利擁護研修
- ・市地域総合支援協議会研修会
- ・介護技術講習会
- ・福祉サービス苦情解決制度研修会
- ・ハラスメント防止研修
- ・防府総合支援学校進路懇談会

施設名	防府市身体障害者福祉センター
-----	----------------

主な実施事業	身体障害者福祉センター事業(B型)
	地域活動支援センター(機能強化事業Ⅱ型)

1 事業実施状況(総括)

在宅障害者の方が地域において、日常生活又は社会生活を営むことができるように、機能訓練や教養講座・創作的活動又は生産活動・スポーツ訓練を実施し、自立した日常生活や社会参加に向けて支援に努めました。

①日常生活訓練においては、障害の状態や症状に応じて、利用者の個別訓練計画に沿って機能訓練を実施するとともに、利用者個々の身体の維持向上や日常生活動作等の向上につながるよう訓練支援に努めました。

(1)機能訓練事業は、理学療法士及び作業療法士が利用者個々の身体症状や状況の現状を確認しながら、継続的に機能訓練を行うことで身体機能の維持向上や動作能力・運動機能の改善及び日常生活動作の自立を支援し、生活の質の向上に努めました。

(2)言語訓練は、第3木曜日と第4火曜日の月2回実施をしました。言語聴覚士による個別指導で、利用者の発音や発声等の訓練及び、文字を書く練習や、絵カードや文字カードを使って言語の理解や表出訓練を行うことでのコミュニケーションを円滑にし言語能力の向上に努めました。

②社会適応訓練や創作的活動及びスポーツ・レクリエーション等の各種事業を定期的実施して自立した生活や社会参加の促進に努めました。

③市内の施設や障害者団体・福祉関係団体及び松原自治会などの協力で実施した「まりふ福祉まつり」や介護予防教室や介護技術講習及び子供手話教室や点訳講習会等を開催しました。各種行事やイベントを行うことで、地域の方々・障害者団体の方々等への情報提供や障害者及び地域住民の交流に努めました。

④感染症予防対策を行い、安心安全に利用者が各種事業を実施できるように努めました。

2 事業別実施状況(実施内容・成果・評価)

①身体障害者福祉センター(B型)事業

在宅障害者が、地域の実情に応じて自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、必要な訓練、教養の向上及びスポーツ、レクリエーション等の各種事業を提供しました。機能訓練事業においては、理学療法士、作業療法士相談により利用者の個別訓練計画を作成して、障害の症状や状況に応じた機能訓練の支援を実施し、利用者の自助努力の達成に努めました。また、社会適応訓練・創作活動訓練・スポーツ訓練等の各種事業の支援提供を行うことで、身体機能の維持や体力強化につながりました。

②地域活動支援センター(Ⅱ型機能強化)事業

就労が困難な障害者等に創作的活動や生産活動の機会の提供を行うことで、自立した生活や社会との交流の促進を図るとともに、教養講座・スポーツ訓練等のサービスの提供及び利用者の生きがいとなるよう支援に努めました。

また、障害者の自立した生活や社会参加の促進と、機能訓練や教養講座・スポーツ訓練等の各種事業を実施することで、身体の維持向上や日常生活の自立支援、生活の質の向上となるようにサービス提供を行いました。

3 取り組み報告

① 人権擁護の徹底

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
人権尊重と虐待防止の意識の徹底	・人権侵害に関する自己チェックの実施	・自己点検シート(チェックリスト)を作成して、職員間で共有するとともに、人権侵害や虐待防止について定期的(年2回)に周知・確認と情報共有を行っている。
	・虐待防止の自己チェックの実施	
	・職員への虐待防止・権利擁護等の研修の実施	・虐待防止マニュアルや職員倫理綱領について職員に周知・確認を年1回すると共に、いろんな情報等を職員共有することで意識を高めて意思統一を図った。
	・虐待の早期発見、早期対応	
	・外部研修の参加により虐待防止・権利擁護の意識づけ	
苦情・相談への適切な対応	・苦情・要望等の相談受付箱を設置し対応	・玄関の受付付近に苦情受付箱を設置し、定期的に受付箱を確認し対応した ・直接訴えのある些細な事については、随時個人的に職員が対応した ・6年度は、特に苦情受付の投函はない
	・第三者委員への報告	
障害者差別解消法への対応	・職場内での研修会の実施	・外部研修等への参加していないが、会議等の話し合いの中で各種情報を共通認識して対応した
	・外部研修への積極的参加	
利用者の財産の適正な管理と権利の行使	・管理方法の確認と適正な行使	・手持ちバック等は物置場所を設定して保管し、貴重品等は各自で保管するよう指導している

② 支援・サービスの向上

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
安心・安全な支援の提供	・個々の障害の状態に応じた機能訓練の提供及びサービスの提供	・個別の機能訓練計画に沿って訓練を行い、身体機能の維持向上に努め、また安心・安全への配慮や、利用者個々の症状や状況に応じた柔軟な対応を行うことで、自助努力の達成のために各種訓練やサービス提供を行い支援した
	・リスクマネジメントの実施	・職員会議において事例検討を行い、職員相互で情報を共有・周知・確認をすることで意識の向上を図った
	・ヒヤリハット事例研修の実施	
	・感染症対策の実施	・手すりやドアノブ及び訓練器具等の定期的に消毒を行うと共に、利用者には手消毒と検温を実施した
支援技術の向上	・外部研修への積極的参加	・参加していない
	・利用者や関係者を対象とした研修の企画	・介護技術や介護予防教室等の講習会を通して職員も参加して、スキルアップを図った
提供サービスの点検	・サービス評価の実施	・訓練計画の記録内容を評価し、今後の訓練計画の内容検討にしている ・言語訓練においては、相談記録を確認して訓練評価を行った

	・利用者満足度調査の実施(1回/年)	・1月～2月にかけて利用者満足度調査のアンケート調査を実施し、アンケート結果を踏まえて職員の意識向上や利用者対応の向上に努めた
生活環境の充実	・利用しやすいように、訓練器具の配置や器具の点検	・訓練室清掃(年2回)時に、利用者の動線を考えて器具の配置検討を行った また、ヘルストロン・マイクロサミーについては、定期点検を業者に点検委託、その他の訓練用具については日々自主点検を行った
	・定期的に環境整備を実施	・建物回りの清掃は防府市愛光園との委託により実施している また、センター職員において定期的に敷地内の清掃や樹木等の剪定を定期的に行い、地域自治会の依頼もあり河川の清掃作業も年2回実施している
創意工夫による業務の改善	・訓練環境の整備	・職員間で協議し、訓練室が明るく使いやすい配置、また安心安全に訓練ができる環境になるように利用者目線で器具の配置や機器の点検整備を行った
	・快適な空間づくり	
	・業務内容の検討や見直し	
地域と利用者の交流促進	・福祉啓発事業・講習会・まりふ福祉まつり等の開催	・講習会や教室等の開催を定期的を実施した ・地域住民に講習会や教室等への参加要請や自治会情報等を共有し連携に努め、地域住民との交流や地域行事への参加をすることで、社会福祉に対する理解の向上と地域連携に努めた
	・行事等への地域自治会の参画や地域自治会との連携	
	地域の自治会行事に参加協力	
セーフティネット機能の推進	・他の関係機関等との連携	・敷地内にある保健センターと行事や災害などで情報共有し連携及び協力体制の構築に努めた
地域生活支援	・他施設及び関係機関との連携協力	・センター行事や催しなどを開催する際は、事業団内施設や障害福祉団体連合会や市内福祉施設会及び行政等と連携・協力して実施するようにしている
個人情報保護の徹底	・個人情報管理の徹底	・会議の中で職員倫理綱領、職員行動基準等を職員間で確認・共有して、周知徹底に努めた
	・職員への周知と意識づけの徹底	

③ 施設機能の地域提供

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
社会資源としての地域提供	・福祉啓発事業の実施や、子ども手話教室、障害者・お年寄りの交通安全教室、介護技術講習会、介護予防教室等の開催	・介護技術講習会、介護予防教室、点訳講習会等の開催については感染予防対策を行った上で、安心安全に配慮して施設利用や提供に努めた 子ども手話教室、障害者・お年寄りの交通安全教室等についても感染予防対策を徹底し開催した
ライフステージに対応したサービス調整	・障害者や介護者との連携	・施設の利用状況や訓練状況についての情報提供や家庭で状況などの情報収集に努めた
	・他施設等の見学	・事業所や個別での見学は受け入れている
	・実習等の受け入れ	・9月から10月の間に18名の防府看護学院の実習を受け入れた
多様な福祉サービス事業の提供	・施設機能を活用した事業の検討	・新たな事業や実施事業の充実はできなかったが、事業を行う上で安心安全に努めた

④ 地域とのコミュニケーション

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
地域への情報発信と協力	・福祉啓発事業・行事・イベント等の開催については市広報に掲載し情報提供やチラシの配布	・開催予定の講座・教室等については、市広報・社協だよりや地域への配布チラシを通して、市民や地域住民に情報提供を行った
	・行事・イベント・月行事を地域の公民館への配布	・センター内に月予定表やセンター情報を置き、利用者に講座やスポーツ訓練等の各種事業の啓発を行った
参画・政策提言	・各種行事への地域自治会の参画	・地域等との企画会議等は実施できなかったが、地域の行事や活動については連携に努めている
地域貢献活動の推進	・地域自治会の活動への参加協力	

⑤ 人材の確保・人材の育成

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
人材育成のための関係機関との連携	・ネットワークの構築	・事業団施設や市内各施設及び福祉関係機関と連携を取り情報提供や情報交換を行った
職員の育成	・内部研修での行動基準や倫理綱領の周知徹底	・会議の中で職員倫理綱領、職員行動基準を職員間で確認・共有し、周知徹底と職員の意思統一を図った
	・マニュアルの再確認と周知徹底	
教育研修の充実	・内部研修、外部研修への参加	・参加していない

⑥ 魅力ある職場づくり

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
ワークライフバランスへの配慮	・年次有給休暇の取得促進	・年次有給休暇は勤務に支障が出ないように留意して 6 日取得を目標とし夏季休暇は全員取得に努めた
	・夏季休暇取得の促進	
自己啓発の促進	・資格取得の奨励	・啓発はしているが、実績がない
風通しのよい職場づくり	・職員間の意思疎通や連携を密にする	・利用者の利用状況やセンター行事等について職員会議で内容検討し共有することで、職員間で意思疎通を図った
	・職員会議等での利用者状況の共有	
職員体制・連携強化への取り組み	・職員間の情報共有	・職員会議で内容検討し共有することで、職員間で意思疎通を図った

⑦ 経営基盤の安定・強化

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
経営改善のための取り組み	・経費の削減	・会議等で周知徹底し節約に努めた
	・利用者増への取組	・利用者の他施設利用状況の調査を行い、個々の利用者の施設利用状況を把握し、利用者に対して訓練やスポーツ訓練等への参加呼びかけを行い、行事予定表の作成による利用者への周知に努めるとともに、利用アンケート(どんなことに興味があるのか)を実施して講座・教室内容を検討して、利用増への取組みを進めた
	・利用アンケートの実施	

経営意識の醸成	・利用者状況の確認と情報の共有	・職員会議で利用者情報を共有することで利用者の症状や状況及びサービス提供や支援の内容を確認している
	・施設利用の状況の確認	
予実管理の徹底	・予算執行状況の確認	・事業を実施するにおいて、必要経費や物品等の購入等の概算を計上して予算確認をしている

⑧ コンプライアンスの徹底

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
コンプライアンスの推進	・事業団の職員倫理綱領及びセンター職員の行動基準の厳守	・職員倫理綱領及び職員行動基準を職員間で共有・周知・確認して意識づけを行った
	・職員への周知徹底と意識づけ	
	・コンプライアンスセルフチェックの実施	・職員会議等でセルフチェックは行って、職員間で共通認識をもって周知・確認して意思統一を行った
労務管理の徹底	・職員への周知徹底と意識づけ	・会議等で業務内容の状況を確認・共有して、職員間で事業の見直しをして業務内容の検討を行うと共に周知徹底に努めている
	・業務の効率化、作業・事業の見直し	

⑨ 防災・防犯対策の強化

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
定期の防災訓練、防犯訓練実施	・避難訓練の実施(2回/年)	・年2回、6月3日と12月9日に避難訓練を近隣の保健センターと協力して実施した
	・防犯訓練の実施(1回/年)	・11月18日に防府警察署員の指導のより、さすまたの使用方法や防犯実技訓練を実施し、近隣の保健センターと協力をした
	・防災訓練(高潮想定)の実施	・防災マニュアルを確認し、避難訓練実施後に高潮想定についての講話を行った
災害協力・安全協力体制の推進と整備	・隣接の保健センターや関係機関と連携による災害対応への体制整備	・敷地内にある保健センターと災害などで連携し協力体制の構築に努め、事前連絡をとり連携して訓練を実施している
	・安全確保への方策の検討	・近隣の保健センターと連携を密にし協力体制を構築する

4 利用状況

① センター利用状況

(単位: 日・人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
開館日数	24	24	25	26	25	23	26	24	23	22	22	23	287	24
地域活動利用者	183	178	152	179	130	136	169	146	144	123	123	154	1,817	151
センター利用者	91	98	109	92	156	95	107	104	80	79	93	101	1,205	100
利用者数	274	276	261	271	286	231	276	250	224	202	216	255	3,309	252

② 機能回復訓練(毎週月曜日から金曜日)※重複利用

(単位: 日・人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
機能訓練日	21	21	20	22	20	19	22	20	20	19	18	20	242	20
利用者	213	208	193	214	147	160	200	178	178	169	165	205	2,230	186
リハビリ	136	124	124	125	75	106	132	114	122	110	108	139	1,415	118
ヘルストロン	0	0	2	4	3	9	9	8	4	8	6	6	59	5
マイクロサミー	118	120	105	121	92	84	99	91	72	75	78	87	1,142	95
ホットパック	52	56	41	49	31	26	33	33	34	34	40	36	465	39
血圧測定	36	42	35	43	25	29	31	28	26	31	27	33	386	32

③ 機能訓練送迎(月曜日～金曜日)

(単位: 日・人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
送迎日数	12	9	12	10	10	10	10	12	10	11	11	13	130	11
機能訓練者数	15	16	20	18	12	14	15	15	14	15	21	26	201	17

④ 療法士相談(理学療法 月・水・金曜日午前・午後、第1・3火曜日:毎週木曜日は午後、作業療法代木曜日午後)※重複利用

(単位: 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
理学療法	167	160	147	166	118	106	143	126	119	120	124	154	1,650	138
作業療法	2		2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	21	2
計	169	160	149	168	120	108	145	127	121	122	126	156	1,671	140

⑤ 言語訓練(月2回、第3木曜日、第4火曜日)※重複利用

(単位: 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
訓練者延べ人数	7	6	6	7	8	6	8	5	8	5	9	8	83	7

⑥ 表出訓練

(単位: 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
軽運動	37	37	33	31	22	23	25	19	25	27	28	39	346	29
ゲートボール	29	25	27	33	24	30	31	27	26	28	25	33	338	28
ボッチャ	13	25	19	25	14	12	20	11	12	16	15	19	201	17
卓球	12	12	12	12	10	15	14	15	14	9	14	11	150	13
合計	91	99	91	101	70	80	90	72	77	80	82	102	1,035	87

⑦ 講座・教室利用者(月1・2回)※重複利用

(単位: 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
華道講座	3	3	2	2	4	4	3	4	4	5	6	7	47	4
民謡講座	5	3	5	6	3	6	5	3	5	6	0	8	55	5
手芸講座	2	2	2	1	2	2	2	2	1	0	0	3	19	2
陶芸講座	4	5	4	6	8	5	6	4	4	6	6	6	64	5
カラオケ教室	7	8	8	4	8	10	8	8	8	6	8	11	94	8
将棋・囲碁	2	1	0	1	1	2	2	1	1	1	2	2	16	1
合計	23	22	21	20	26	29	26	22	23	24	22	37	295	25

⑧ 貸室利用状況

(単位：室・人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
軽運動室兼会議室	10	10	8	5	5	6	3	7	9	8	9	7	87	7
研 修 室	15	12	11	10	6	14	16	11	11	8	9	18	141	12
その他の部屋	1	2	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	7	1
貸 室 計	26	24	20	15	11	20	22	18	20	16	18	25	235	20
利 用 者 人 数	192	165	188	133	109	141	151	180	269	159	188	252	2,127	177

5 主な事業の利用率

事 業 名	定員(人)	利用延べ人数(人)	利用率(%)	備 考
身体障害者福祉センター事業	—	1,205	—	前年度比：96%
地域活動支援センター (機能強化Ⅱ型)事業	—	1,813	—	前年度比：92%
貸室利用事業	—	2,127	—	前年度比：108%

6 実施行事及び参加行事

実施月	実施・参加行事	参加人数(人)	備 考
5月・10月	点訳講習会	6	1回目5月15日～6月26日 2回目10月9日～11月20日
5月・9月・11月・2月	介護予防教室	39	年4回実施
6月	障害者体育大会	5	
7月	まりふ福祉まつり	500程度	
7月	夏休み子ども手話教室	10	7月31日～8月4日の5日間 (保護者6名参加)
11月	介護技術講習会	8	
11月	障害者・お年寄りの交通安全教室	13	
3月	防府市障害者親睦卓球大会	5	

7 地域貢献活動、職員研修等について

松原地区の河川や溝の清掃作業が毎年5月の日曜日に実施されており、地区より協力要請があります。センターでは日曜日の作業は難しく参加できないために4月27日にセンター職員等3名で建物南側のある河川の清掃作業に協力しました。また、10月にも建物南側のある河川の清掃作業を実施しました。

介護予防教室や介護技術講習会等を開催する際には、近隣の公民館やセンター近隣の地域住民の方々に開催案内を自治会に協力要請して各家庭に回覧して頂き、地域の障害者やご高齢者に対して参加協力に努めました。また、まりふ福祉まつりの際は、まつり企画に自治会の協力を得ました。

施設名	防府市障害者生活支援センター
-----	----------------

主な実施事業	計画相談支援（指定）
	障害児相談支援（指定）
	相談支援（受託）一般・障害児
	地域相談支援（移行・定着）

1 事業実施状況(総括)

特定相談・障害児相談では、自宅訪問し、本人のニーズや障害を理解したうえで、サービス利用計画を作成し、定期的にモニタリングを実施しました。また、市、各事業所等関係機関と連携しながら支援を行いました。

児童の支援においては発達の相談や保護者の不安に寄り添い、療育機関や幼稚園・保育園・学校等と連携して支援に取り組み、就学から卒業後の進路相談等、子どもから大人に向けて幅広い支援に努めました。医療的ケア児の支援においては、病院や訪問看護事業所、訪問入浴事業所等と連絡を密にして連携した支援に努めました。

一般相談では、本人・家族の支援、一般就労や在宅での生活相談、個別支援等を実施し、様々な支援サービスの向上に努めました。また、虐待ケース対応や困難ケースにも関係機関と連携して取り組みました。

重度心身障害や精神障害の方で訪問看護を利用している方も増え、医療機関との連携やケア会議にも積極的に取り組みました。また、不安傾向が強く、電話連絡等の頻繁な利用者については冷静な相談対応できました。

2 事業別実施状況(実施内容・成果・評価)

① 計画相談支援事業

- ・自宅や事業所を訪問し、アセスメントをして計画作成やモニタリングを実施しました。また、本人・家族、事業所等との連携及び関係機関との調整や、担当者会議、見学同行、通院同行等の支援に努めました。

- ・精神障害や発達障害の方やその家族からの相談、生活困窮や就労、住居、障害年金等相談内容が多様化する中、本人のみならず家族丸ごと支援のケースが増加しています。

- ・家族の高齢化や入院等で施設入所や短期入所、グループホームの利用が必要な方に対応し対象となる施設・事業所につなぐことができました。また、施設・事業所を利用することで安心できる生活を過ごすことができました。

② 障害児相談支援事業

- ・自宅訪問を基本とし、アセスメントをして計画作成やモニタリングを実施しました。また、本人・家族に寄り添いながら、事業所、幼稚園、保育園、学校との連携に努めました。必要な家庭には保護者了解のもと、保育所等訪問支援を計画内容に入れて、十分な連携が取れるよう寄り添った対応に努めました。

- ・保護者の障害受容や子育ての悩みへの支援、児童発達支援や放課後等デイサービス事業所の見学同行等も実施しました。また、医療的ケア児に関しては、病院や訪問看護と連携し、ケア会議を重ね、家庭への生活に移行できるよう支援に努めました。

- ・本人の成長により支援計画が必要でなくなった場合でも次のステップに向けて保護者との協力体制を継続することで適切な支援に努めることができました。

③相談支援事業（受託）一般・障害児事業

- ・委託相談については、日々の生活全般や就労に関する相談、虐待等の疑いがある困難ケース、就学についての相談等、計画相談にはつながらないケースに対して家族を含めた支援を提供しました。
- ・経済的困窮に関する相談や障害年金、住居や就労の確保等、あらゆる日常生活相談及び虐待等の困難なケースに対して積極的に支援を行いました。
- ・児童に対する支援においては、計画にのらない家庭や個人への支援、ネグレクト、虐待の疑い等のケースが増えてきています。また、本人の成長等の状況変化により計画相談が終了した後も、継続して定期的な相談支援を提供することができました。
- ・自治体や児童相談所等の関係機関と連携しながら、利用者に寄り添った相談支援に努めました。

3 取り組み報告

① 人権擁護の徹底

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
人権尊重と虐待防止の意識の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・人権侵害に関する自己チェックの実施 ・虐待防止の自己チェックの実施 ・虐待防止マニュアルの確認 ・外部研修への職員の参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援業務や会議等で、マニュアルの確認やセルフチェックを実施した ・必要なスキル向上や制度対応のための専門研修に積極的に参加した
苦情・相談への適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情の受付、苦情箱の設置等体制維持及び整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・身障センター入口に設置 ・利用者本人、家族からの要望や相談に対し、必要に応じて適切な対応に努めた
障害者差別解消法への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・職場研修の実施 ・外部研修への職員の参加推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の業務及び会議でマニュアルの確認を行い全職員に定期的に周知徹底を図った
利用者の財産の適正な管理と権利の行使	<ul style="list-style-type: none"> ・管理方法の確認と適正な行使の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭管理を必要とする利用者で、希望される方は社協等関係機関と連携して個別に支援した

② 支援・サービスの向上

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
安心・安全な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの実施やヒヤリハットの検証 ・利用者個人情報管理の徹底 ・感染症の研修 訪問時の対応 ・適切な感染症対策を講じた支援の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活支援や会議等にて検討や確認をし、秘密保持や個人情報の管理に努め、ケース書棚の鍵の施錠を徹底 ・日々の体調管理に努め、体調不良時には早めに対応した
支援技術の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内研修の実施 ・専門研修の実施 ・外部研修への職員の参加推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の業務や会議等で定期的の実施 ・子ども発達部会の研修会に参加
提供サービスの点検	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス自己評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に自己評価を行った
生活環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時に利用者の生活状況の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時の家庭の様子や、聞き取りで確認した
創意工夫による業務の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善等に対する職員提案の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案しやすい環境づくりに心がけた

地域と利用者の交流促進	・地域行事や関係機関実施行事への参加	・事業団内の行事の参加し、体操や卓球、地活の利用者へのPRを行った
セーフティネット機能の推進	・困難ケースの適正な対応と支援 ・行政や他相談支援事業所と連携した支援	・個別訪問や担当者会議への出席 ・市の要保護児童対策会議等への出席。 虐待、暴言、生活困窮、ネグレクト等、困難ケースへの対応を行った
地域生活支援	・支援サービス利用計画に沿って、関係機関と連携しながら地域移行や生活の推進 ・退院後の支援の充実	・病院のケア会議への参加、緊急時の対応や、家族が困難な場合、入院や退院の支援協力をした ・入院時から医療機関と連携してケア会議等に参加し、家族や関係機関との連絡調整に努めた
個人情報保護の徹底	・職員倫理及び、情報公開の徹底	・各種マニュアルを活用し周知徹底に努めた

③ 施設機能の地域提供

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
社会資源としての地域提供	・地域の研修会等への職員派遣	・派遣等はなかった
ライフステージに対応したサービス調整	・支援提供者との連絡・関係機関との担当者会議等への積極的参加 ・施設見学の実施	・事業所のモニタリングや日頃からの連携 ・利用者個々の年齢や就学等の節目の前に実施した
多様な福祉サービス事業の提供	・地域支援機能の構築 ・児童から成人まで一貫性のある相談支援の充実 ・ピアカウンセリング機能の提供と検討	・障害に応じて個別にマッチングして対応機能の再検討が必要。 ・個別にマッチングにて対応した

④ 地域とのコミュニケーション

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
地域への情報発信と協力	・ホームページの有効活用	・事業所情報をホームページに掲載し情報発信を推進した
参画・政策提言	・防府市総合支援協議会への参加	・サービス調整会議・運営会議・子ども発達部会・研修会等に参加
地域貢献活動の推進	・地域に必要な取り組みを検証し推進に努める	・まりふ福祉まつりに参加し、地域住民と交流を図った

⑤ 人材の確保・人材の育成

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
人材育成のための関係機関との連携	・関係機関や施設と連携して計画的実習を受け入れ	・相談支援専門員会議子ども発達支援部会・就労支援部会・保護者サークル部会や研修への参加 ・総合支援学校の進路相談会に参加した
職員の育成	・個別人材育成に基づいた研修や勉強会の実施	・ケース会議で事例検討を行った

教育研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・職員・関係者対象の研修の企画 ・理解度に応じた研修 ・外部の専門的な研修への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己研鑽を高めるため、研修には積極的に参加した
---------	---	--

⑥ 魅力ある職場づくり

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
ワークライフバランスへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・年次有給休暇取得の計画的推進 ・効果的な夏季休暇の取得 ・メンタルヘルスの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前申請し、利用者訪問予定等を確認して取得 ・取得時期が重ならないようにして、100%取得した ・話しやすい職場環境づくりに努めた
自己啓発の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップのための資格取得推奨 ・自己啓発研修参加への勤務配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家資格取得により、2名の職員が奨励金交付を受けた ・職員の希望を尊重した研修参加によりスキルアップを推進した
風通しのよい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職員による計画的な面談 ・法人内事業所等との連携と情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ、面談を適時実施 ・感染予防対策と体調管理に努めた
職員体制・連携強化への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策の強化 ・情報共有化の推進 ・効率的な会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対応マニュアルにより常に感染防止対策を講じた ・法人内施設や地域の関係機関との連携による協力体制の構築を推進した ・各種会議の時間設定を厳守するなど効率的な会議に努めた

⑦ 経営基盤の安定・強化

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
経営改善のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・経費削減への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務に必要な物品等事務費の執行に対して適時協議を行った
経営意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・会議での利用状況や収支報告の状況確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援職員ごとの事業収入を管理するため定期的な検討によりケース数の調整を実施した
予算管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・予算と執行の確認管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な事業運営により予算管理を行った

⑧ コンプライアンスの徹底

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
コンプライアンスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスのセルフチェック ・コンプライアンスの意識向上への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等を利用して、意識向上の促進に努めた ・コンプライアンスセルフチェックの徹底を推進した
労務管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な休憩の取得 ・業務手順での事務処理対応時間の明示 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外業務は事前に申請し、事務処理した ・訪問時間等にあわせて、その前後で柔軟に取得した

⑨ 防災・防犯対策の強化

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
定期の防災訓練、防犯訓練実施	<ul style="list-style-type: none"> ・身障センター内事業所との合同避難訓練の実施 ・身障センター内事業所との合同防犯訓練の実施 ・防犯に係る安全確保のための方策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・単独での訪問に不安や危険性のある場合は二人体制で訪問 ・防府市身体障害者福祉センター、防府市わかさ園、事務局と合同で実施した
災害協力・安全協力体制の推進と整備	<ul style="list-style-type: none"> ・合同防災訓練の強化への協力 ・地域防災組織との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・防府市身体障害者福祉センター、防府市わかさ園、事務局と合同で検討した（大雨災害等による大平園利用者避難等） ・災害時に支援が必要な利用者の地域の社会資源を検討した

4 利用状況

委託相談支援（障害者）

障害別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体障害	2	0	5	0	0	21	12	14	11	21	18	25	129
重症心身障害	0	0	0	0	0	0	0	4	6	11	0	2	23
知的障害	36	33	56	26	19	64	57	31	46	36	30	54	488
精神障害	39	24	20	51	57	61	64	96	42	45	36	31	566
発達障害	21	14	4	12	15	33	22	18	5	7	0	11	162
高次脳機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	37	15	2	2	2	0	4	4	2	3	2	2	75
計	135	86	87	91	93	179	159	167	112	123	86	125	1,443

特定相談支援（障害者）

障害別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体障害	50	49	13	46	34	33	25	20	26	31	56	67	450
重症心身障害	22	29	40	30	16	10	4	9	5	8	28	4	205
知的障害	184	185	179	178	134	135	94	76	106	176	121	121	1689
精神障害	114	110	58	56	70	111	87	41	54	70	59	61	891
発達障害	4	14	6	5	10	25	11	22	14	17	30	9	167
高次脳機能障害	0	4	2	0	0	0	0	3	2	0	0	0	11
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	374	391	298	315	264	314	221	171	207	302	294	262	3,413

委託相談支援（障害児）

障害別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体障害	1	1	1	1	1	1	4	1	1	2	4	2	20
重症心身障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	2	0	0	1	2	6	11	3	3	7	3	0	38
精神障害	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
発達障害	3	1	21	61	2	14	0	19	6	21	6	14	168
高次脳機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	18	27	7	10	13	2	2	5	11	4	14	8	121
計	24	29	29	83	18	23	17	28	21	34	27	24	357

特定相談支援（障害児）

障害別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症心身障害	46	34	11	34	12	24	27	26	21	16	22	16	289
知的障害	40	36	44	48	28	25	39	42	30	36	65	48	481
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	68	90	68	49	69	58	74	75	64	41	72	117	845
高次脳機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	88	60	52	57	58	85	54	45	52	30	91	121	793
計	242	220	175	188	167	192	194	188	167	123	250	302	2,408

支援内容別利用状況（延べ件数）

支援内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	101	111	98	79	84	85	62	76	73	74	93	100	1,036
外来	45	52	42	48	45	57	50	40	36	45	43	49	552
同行	25	17	11	15	5	12	20	17	13	14	14	16	179
電話	151	144	118	110	111	131	107	84	76	102	82	102	1,318
メール	199	137	111	142	117	129	116	129	112	96	138	159	1,585
ケア会議	22	10	14	17	9	11	18	8	11	7	21	14	162
連絡調整	232	255	195	266	171	281	218	200	186	244	266	273	2,787
合 計	775	726	589	677	542	706	591	554	507	582	657	713	7,619

5 主な事業の利用率

事業名	定員(人)	利用延べ人数(人)	利用率(%)	備考
計画相談支援	—	3,413 人	—	前年度比：62.6%
障害児相談支援	—	2,406 人	—	前年度比：83.4%
相談支援 (受託・一般)	—	1,436 人	—	前年度比：95.3%
相談支援 (受託・障害児)	—	364 人	—	前年度比：75.8%

6 実施行事及び参加行事

行事等実施日	実施・参加行事	参加人数 (人)	備考
令和6年4月	相談支援専門員部会	6	ケース会議・職員会議
令和6年5月	サービス調整会議 保護者サークル 子ども発達支援部会コアメンバー会議	6	ケース会議・職員会議
令和6年6月	運営会議 相談支援専門員部会 第1回山口・防府ネットワーク交流会議 防府総合支援学校 学校公開 避難訓練	6	ケース会議・職員会議
令和6年7月	相談支援専門員部会 保護者サークル 子ども発達支援部会コアメンバー会議	6	ケース会議・職員会議
令和6年9月	運営会議 保護者サークル	6	ケース会議・職員会議
令和6年10月	相談支援専門員部会 子ども発達支援部会コアメンバー会議 防府総合支援学校進路相談会 消費者被害防止ネットワーク連絡協議会	6	ケース会議・職員会議
令和6年11月	サービス調整会議 保護者サークル 防災訓練	6	ケース会議・職員会議
令和6年12月	運営会議 防府総合支援学校進路相談会 山口南総合支援学校進路相談会	6	ケース会議・職員会議
令和7年1月	保護者サークル 子ども発達支援部会コアメンバー会議	6	ケース会議・職員会議

令和7年2月	相談支援専門員部会 サービス調整会議 子ども発達支援部会コアメンバー会議 防府総合支援学校進路相談会 山口南総合支援学校進路相談会	6	ケース会議・職員会議
令和7年3月	運営会議 保護者サークル 子ども発達支援部会コアメンバー会議 山口・防府圏域関係機関連絡調整会議	6	ケース会議・職員会議

7 地域貢献活動、職員研修等について

(地域貢献活動)	
令和6年6月	華浦小読み聞かせボランティア
令和6年7月	まりふ福祉まつり
令和6年11月	華浦小読み聞かせボランティア
令和7年1月	華浦小読み聞かせボランティア
(職員研修状況)	
令和6年6月	子ども発達支援部会研修
令和6年7月	相談支援従事者初任者研修
令和6年9月	子ども発達支援部会研修 相談支援従事者初任者研修
令和6年10月	ヤングケアラー研修会 強度行動障害支援者養成研修 令和6年度相談支援・就業支援セミナー
令和6年11月	相談支援従事者現任インターバル研修 防府市要保護児童対策地域協議会実務者研修会 医療的ケア児等コーディネーター養成研修 個別避難計画作成に関する説明会
令和6年12月	医療的ケア児等コーディネーター養成研修 子ども発達支援部会研修 障害者虐待防止・権利擁護研修
令和7年1月	精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修
令和7年2月	子ども発達支援部会研修
令和7年3月	ピアサポート講座 障害者虐待防止・権利擁護研修(内部)

施設名	防府市なかよし園
-----	----------

主な実施事業	児童発達支援センター
	保育所等訪問支援
	放課後等デイサービス

1 事業実施状況(総括)

- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行して1年経過し、各種事業が制約なく遂行できるようになり利用契約の増加に伴い収益増を見込んでいましたが、思うように児童発達支援センターの利用契約者を増やすことができませんでした。その理由として、児童発達支援センターを3クラスに分けて療育支援を行っていましたが常勤職員不足のため配置が上手く機能しなかったと考えられます。しかし、3クラスに分けることで個別に対してきめ細やかな支援ができたので療育の効果も上がり保護者には大変好評で喜ばれました。
- ・保育所等訪問支援事業においても訪問支援員が現場と兼務していることから当初の予定通りの件数を訪問することができませんでした。
- ・地域連携やネットワーク作りについては児童発達支援センター及び放課後等デイサービス共に、これまで以上に関係機関等との連携が強まり情報共有することができました。
- ・今年度は大幅な報酬改定が有り各種加算を取得するため年度当初は、請求業務に混乱が見られましたが、年度後半になるにつれ何とかスムーズにできるようになりました。
- ・職員の質の向上については各種研修への参加やオンライン研修の積極的参加や内部研修の充実を図ると共に資格取得研修を取り入れて2名が受講しています。

2 事業別実施状況

①児童発達支援事業

(実施内容)

- ・個別支援計画や特別支援計画を立てきめ細やかな設定療育や専門的療育を提供しました。
- ・関係諸機関との情報交換を密に行い、重度障害児や医療的ケア児の受け入れを可能な限り行いました。
- ・療育体制を3クラスに分けて、きめの細かい支援を行いました。
- ・利用契約が困難な児童の場合、相談支援を行い他事業所やミュージックセラピー、親子体操教室等の紹介やペアレントメンター相談会、講演会等の情報提供を行いました。
- ・給食提供についてはアレルギー食やミキサー食等の対応を行いました。
- ・医療的ケア児について可能な限り受け入れ胃瘻の栄養剤注入を行い、年度終盤にはミキサー食の経口摂取支援や吸入等の支援を行いました。
- ・研修は現場の支援に支障がないようにできるだけ外部研修に参加したり、オンライン研修を取り入れ、内部研修に外部の講師を招いたりして行いました。
- ・教育委員会等との連携を取り就学相談を行いました。
- ・要対協対象児童については、各関係機関との連携を図り情報共有に努めました。

(成果・評価)

- ・療育体制を3クラスに分けて個別支援計画や専門的支援実施計画を立てることで児童個々の特性を把握し、個々の利用児に無理なく療育支援の提供ができ効果的でした。
- ・重度心身障害児や医療的ケア児を可能な限り受け入れ医療的ケアを行うことで対象児童の療育の場を作り保護者の心身の負担の軽減につながっています。胃瘻造設児童については年度末にはミキサー食を摂取できるまでに至りました。
- ・利用契約待機児童に対してミュージックセラピーやペアレントメンター相談会等、様々な情報を提供し相談等に対応することで待機期間中の不安を軽減できました。
- ・給食提供については特にアレルギー食に対して毎月の献立を配布し、保護者の意見を聞き取り代替食にすることで安心して頂けました。
- ・研修については、山口県障害者発達支援センターまっぷから講師を招き現場での課題解決や事例検討等を継続的に行うことができ職員の知識・技術の向上につながりました。
- ・就学相談を行うことで個々の児童がスムーズに就学できるようになり保護者の不安を解消できました。
- ・研修については非常勤職員の参加を促し、山口県障害者発達支援センターまっぷから講師を招き現場での課題解決や事例検討等を継続的に行うことができ職員の知識や技術の向上につながりました。
- ・要対協対象児童については関係機関との情報交換を行うことで継続した支援ができました。

②保育所等訪問支援事業

(実施内容)

- ・児童発達支援センターの通所利用契約の待機や通所が困難な児童に対して保育所等訪問支援の契約をし保護者と児童の通園している保育所や幼稚園等の職員の相談支援を行いました。
- ・幼稚園や保育園等から当園との契約児童以外の児童の相談にも対応しました。

(成果・評価)

- ・当園の事情（人員不足等）により通所希望児童の契約を待機してもらいましたが、保育所等訪問支援の契約を行い、相談支援を行ったことで保護者や幼稚園・保育園の職員の安心につながりました。また、待機から利用契約になった時は児童の情報がある程度把握できているので園での療育がスムーズに受けられることができ利用児や保護者の不安の軽減につながりました。

③放課後等デイサービス事業

(実施内容)

- ・防府総合支援学校の小学1年から高校3年の学童や牟礼地区の小学校支援級の1年から6年の学童を受け入れ個々のニーズに合った個別支援計画を立て療育支援を行いました。
- ・日中一時支援事業と組み合わせて、学校の早終わりの時などは継続した支援を行いました。
- ・重度の学童を可能な限り受け入れて必要に応じて医療的ケアを行いました。
- ・要保護対象児童に対して関係諸機関と情報を共有しながら支援方針に沿って対応しました。

(成果・評価)

- ・総合支援学校小学1年生から高校3年生までと牟礼南小学校支援級の小学1年生から6年生まで受け入れ、個別に課題を提供しながら療育支援ができました。特に強度行動障害学童に対しては、個別スペースを確保するとともに集団で過ごせるよう支援することで対象学童の孤立を軽減することができました。
- ・学校が早終わりの時、日中一時支援と組み合わせることで継続した支援を提供することで保護者の負担軽減につながりました。
- ・重度心身障害学童を受け入れ特殊車椅子のリースや福祉車両での安全な移動や送迎支援を行うことで保護者にも安心していただくことができて、職員の身体的負担も軽減できました。
- ・要対協対象学童に対して関係諸機関と情報交換したり会議に出席したりすることで対策方針の共有ができ保護者への相談支援の統一化を継続できました。

④発達障害児地域支援体制強化事業(受託)

(実施内容)

- ・市の委託事業として発達障害児及び家族支援事業として市の担当者と連携を取りながらペアレントメンター相談会を5月、7月、9月、12月、2月、3月実施し9月と11月は講演会を開催、会場を保健センターにして実施しました。
- ・毎月第2土曜日の10:00～12:00 ミュージックセラピーを実施（R7年2月は積雪のため中止）、親子体操教室は年4回（7月、8月、10月、11月）予定を8月は台風により中止のため3回スポーツセンターで実施しました。
- ・支援者養成研修は12月にスポーツセンター会議室で集合研修を実施しました。

(成果・評価)

- ・ペアレントメンター相談会や講演会は会場を保健センターにしたことや親子体操教室の会場をスポーツセンターにすることで参加希望者が利用しやすくなりました。月1回のミュージックセラピーは後半になるにつれ参加希望者が増えていきました。参加希望者が定員オーバーとなり待機者が出るくらい需要が高まっています。
- ・支援者養成研修は12月に集合研修を実施した結果、保育園や幼稚園、各事業所等などから44名の参加があり好評でした。

⑤こどもの発達支援体制整備事業(受託)

(実施内容)

- ・今年度から開始した県の委託事業で、県の担当者と連携を図りながら事業内容の把握に努めました。
- ・外来相談～子育てに関する電話や来所による相談に対応しました。
- ・施設指導～通級指導教室からの依頼で言語聴覚士による構音指導についての講演をしました。
- ・巡回相談～巡回指導についてのコンサルテーション研修を行い、チラシを作成して配布しました。
- ・地域支援～保育園や幼稚園、事業所関係等の職員を対象とした支援者養成研修を12月に実施しました。ボランティアで小学生に本の読み聞かせを実施しました。短大保育学科の実習生やこども専門学校の学生実習、特別支援学校の中堅教諭資質向上研修の実習を受けました。

(成果・評価)

- ・今年度から県の新規委託事業なので県担当者との連携を取り事業の理解を深めました。
- ・外来相談は、発達の遅れや子どもへの接し方、療育についての相談等に対して丁寧に対応し相談者の不安を軽減できました。また、来園相談者については親子で来園して頂き数回面談の機会を設置して経過を見ながら対応し、最終的に児童相談所に紹介をしました。
- ・施設指導については通級指導教室からの依頼で言語聴覚士を派遣し構音指導についての講演を行うことで支援方法についての理解を深められています。
- ・巡回訪問に関しては新しい業務内容なので山口県障害者発達支援センターまっぷのコンサルテーション事業に同行し、市外の3施設での訪問支援研修を行って事業の内容について理解を深めることができました。コンサルテーション事業のチラシを作成し、市内の保育園、幼稚園、事業所関係に配布し、広報活動を行いました。特に要請は得られませんでした。今後も広報活動を継続し保育園、幼稚園、事業所等に理解を高めて頂く必要があります。
- ・地域支援について小学生に食育について読み聞かせをすることで子ども達に命の大切さについて学んで頂くことができました。12月には支援者養成研修を実施し44名の参加者があり大変好評でした。

3 取り組み報告

① 人権擁護の徹底

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
人権尊重と虐待防止の意識の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・行動基準について読み合わせ(1回/週頭) ・職員倫理綱領の読み合わせ(1回/月頭) ・虐待防止の自己チェック(6月、9月、12月、3月) ・外部研修の参加、内部研修の実施により意識付け ・虐待防止マニュアルの項目について見直しを検討 ・虐待の疑いのある利用児についてはマニュアルに沿った対応を行うと共に関係機関との連携、情報共有に努める ・虐待防止委員会の定期的会議の開催(2回/年) ・身体拘束適正委員会を設置し定期的に会議を開く(虐待防止委員会と兼ねる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動基準を項目ごとに読み合わせを行い現場との検証を行い改善に努めた(1回/週) ・全員で倫理綱領の読み合わせを行い意識づけた(毎月) ・セルフチェック表を年4回記入し提出することで振り返りを行った ・内部研修で虐待防止や身体拘束等について取り上げ意識づけた(毎月) ・虐待防止マニュアルについて関係機関への報告に関して見直しをした ・要対協の対象児童について関係機関と連携し情報交換と共有に努めると共に会議に参加した ・虐待防止委員会及び身体拘束適正委員会を設置し担当者と保護者代表が参加して令和6年10月、令和7年3月に委員会を開催した

苦情・相談への適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・相談は月曜日～金曜日 9:00～16:30受付 ・苦情相談があった場合、早急且つ適切丁寧に対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センターの保護者から服薬支援について苦情相談があったので、会議で検討し状況説明と対策を伝えることで理解を得た
障害者差別解消法への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修や職場研修を行い職員全員の意識向上を図る ・相談等があった場合は適切に対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修を行うことで意識向上につながった ・保護者からの相談を受けることはなかった
利用者の財産の適正な管理と権利の行使	<ul style="list-style-type: none"> ・契約児童・生徒が適切な療育を受けられるための権利を保守 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約利用児・学童が平等に療育を受けられるように権利の保持に努めた（特に重度心身障害児や強度行動障害・医療的ケアが必要な児童や他害のある児や学童に対してできる限り支援ができるよう適切に対応した）

② 支援・サービスの向上

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
安心・安全な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの研修・日々の活動の振り返り（終礼） ・ヒヤリハット事例や事故報告事例による再確認と振り返り、今後の対応について（随時会議を開催） ・感染症対策や災害・防犯・支援等のマニュアル強化・確認 ・AEDの使用や救急法についての研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、終礼時にヒヤリハットや事故報告等を受け、その都度振り返り対策を検討し、次への支援に生かした ・感染症予防対策委員会設置し、年3回会議を行い、 ・コロナウイルス感染症等感染症に対するBCPを作成して、読み合わせを全員で行い共通認識をもった ・安全計画を作成したことで職員全員が安全で安心できる支援に関する共通認識が得られた ・災害防犯対策に対して避難訓練を実施（毎月）土砂災害等の避難訓練に際して保護者への引き渡し訓練を令和6年6月に実施しマニュアルを見直した ・AEDの使用や救急法について看護師から研修を受け、非常勤職員に資料を渡して説明した
支援技術の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所への実習や見学研修を実施 ・オンラインを含めた支援者養成研修（ペアレントトレーニングやティーチャーズトレーニング等）への積極的な参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・人力的に余裕がない中、県の事業である巡回訪問や施設指導のコンサルテーション研修のため、山口県障害者発達支援センターまっぷ指導のもと市外3箇所の施設巡回訪問に同行した ・山口県障害者発達支援センターまっぷから地域支援マネージャに定期的に来園してもらい研修を行うことで少しずつではあるが技術の向上につながっている

		<ul style="list-style-type: none"> ・支援者養成研修を 12 月に実施し保育園、幼稚園、事業所等から多くの参加者が得られた
提供サービスの点検	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート（1 回/年） ・食事調査の実施（1 回/年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートを 11 月に配布、令和 7 年 2 月に結果報告を行った ・9 月に食事調査を実施し 10 月に結果を報告した
生活環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・温かい食事、バランスのとれた食事の提供 ・アレルギー食の代替やミキサー食の対応 ・適切な室温湿度管理を行う ・感染症予防対策を行った環境体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・適温食や栄養バランスのとれた食事の提供に努めた ・アレルギー食の代替やミキサー食の対応を行った ・室内の適温適湿に努めた ・感染症等予防対策のため必要に応じてマスクの着用や使い捨て手袋、手指消毒、遊具の消毒、換気等を徹底した
創意工夫による業務の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が研修等の場合、お互い助け合い業務をスムーズに遂行できるよう努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修以外に職員の長期休暇や異動により職員不足に陥った時は非常勤職員を常勤・専従職員に変更し、非常勤職員の勤務を調整して業務遂行に努めた
地域と利用者の交流促進	<ul style="list-style-type: none"> ・まりふ福祉まつりへの参加 ・近隣の保育園、幼稚園等との交流 ・養護老人ホーム（やはず苑）への慰問 	<ul style="list-style-type: none"> ・7 月にまりふ福祉まつりに参加し景品付きのゲームを行い大好評だった ・近隣の幼稚園に 11 月に訪問し、園児同士の交流を図った結果大変良い体験ができた ・9 月に児童 7 名と職員 3 名でやはず苑を慰問しお祝いの手作りプレゼントを渡して、歌体操とダンスを披露し入居者に変え喜ばれた
セーフティネット機能の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校、保育園、幼稚園、相談支援事業所、障害福祉課、保健センター等の関係諸機関との連携を図り情報の収集と共有に努める ・総合支援協議会への参加と子ども発達支援部会の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校、保育園、幼稚園、相談事業所、行政機関、関係機関等との連携を図り情報交換と共有に努めた ・子ども発達支援部会のコアメンバー会議や子ども発達支援部会、部会研修会に積極的に参加した ・研修部会にも勤務時間外であったが積極的参加に努めた
地域生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて家庭訪問等を行い、保護者支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談があり家庭訪問を継続して行ったことで解決が得られた ・施設内でも保護者の相談支援を行った
個人情報保護の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・書類の管理を徹底（定期的チェック） 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に書類のチェックをしている ・個人情報に関してはメールや Fax は禁止し、書面を郵送している

	<ul style="list-style-type: none"> ・文書の取り扱いはメールやファックス等を利用せず書面を郵送する等の方法で行う ・他施設や関係者との情報交換をする場合は、固定電話を利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・他施設や関係者との電話でのやり取りは固定電話を利用した
--	--	--

③ 施設機能の地域提供

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
社会資源としての地域提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージックセラピー（第2土曜日 身障センター） ・親子体操教室（年4回実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2土曜日に身体障害者福祉センターでミュージックセラピーを開催した 2月は積雪のため中止したが各回とも参加希望者が増加傾向である ・親子体操教室をスポーツセンターにて4回予定していたが台風のため8月が中止となり3回実施し大変好評であった
ライフステージに対応したサービス調整	<ul style="list-style-type: none"> ・地域からの団体訪問者に関しては広く受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体からの訪問はなかったが、保健センターの新任保健師の見学訪問を受け入れた ・関係保育園や幼稚園、関係事業所の職員の見学を受け入れた
多様な福祉サービス事業の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービス事業（防府総合支援学校小学部から高等部や牟礼地域の小学校支援学級等の学童の受け入れ ・保育所等訪問支援事業（感染症対策を講じながら保育所等との連携をとりながら、訪問実績を上げる） ・総合相談の積極的な受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスは支援学校小学1年生から高校3年生まで、近隣の牟礼南小学校支援級の児童2年生と6年生を受け入れている ・保育園、幼稚園等と連携を図り、感染症予防対策を行い訪問支援した 職員不足はあったが161件の実績はあった ・総合相談について電話や他事業所からの紹介などで38件の相談があった 内容は子どもの発達の遅れや保育園、幼稚園の入園について、看護大学生の卒論のテーマ「療育について」などがある

④ 地域とのコミュニケーション

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
地域への情報発信と協力	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりの発行（12回/年） ・ホームページで随時、新情報を更新 ・市広報への掲載（ミュージックセラピーや親子体操教室について4月・5月号に掲載） 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月園だよりを発行 ・ホームページで随時新情報を更新 ・市広報にミュージックセラピーや親子体操教室の参加者募集の記事を掲載した結果、参加希望の問い合わせがあった ・山口発達臨床支援センターの後援事業所として講演会や研修等のポスターやチラシを配布した

	<ul style="list-style-type: none"> ・やまぐち発達臨床支援センターの講演、研修等の案内（パンフレット・ポスター等の配布） ・地域清掃活動や文化祭等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化祭への参加は日程の都合上参加できなかったが、地域清掃活動についても情報が入手できず参加していない
参画・政策提言	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害児及び家族等支援事業（市の委託事業） ペアレントメンター相談会：年4回以上、リソースブック作成、支援者研修：（1回/年）・親子体操教室：（4回/年） ・県の委託新事業「こどもの発達支援体制整備事業」（外来相談・施設指導・巡回指導・地域支援（研修等） ・地域総合支援協議会への積極的参加 ・幼保小連携教育研修会への参加 ・保育園や幼稚園等関係機関への事業説明（必要に応じて） 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害児及び家族支援事業（市の委託事業）として親子体操教室を4回の予定だったが台風のため3回実施となり、ペアレントメンター相談会は7回（内講演会2回）実施した ・総合支援協議会の研修部会や子ども発達支援部会の担当者会議や研修会に積極的に参加した ・幼保小連携教育研修に参加し関係機関との情報交換ができた ・保育所や幼稚園等に事業の内容について必要に応じて随時説明を行うことで理解を得ている ・県の委託事業について今年度が初めてだったので事業の内容を理解することに重点を置き、現状の業務を見直し委託事業への振り分けをした。 ・新規の事業で職員の専属配置が困難なため十分な活動ができていなかったが、今後は事業の活動内容を充実させていけるように努めていきたい
地域貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・養護老人ホームへの慰問（高齢者との交流） ・地域の清掃活動や文化祭などへの参加 ・地域の子どもや子育て世代に対して支援できることを企画 ・ボランティア活動の受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童7名と職員3名で訪問しお祝いの手作りプレゼントを手渡し、歌体操やダンスを披露し入居高齢者と写真を撮り喜んで頂いた ・地域行事の参加はできていないためもう少し情報収集に努めて可能な限り参加していきたい ・小学生に食育について読み聞かせボランティアを行い好評だった ・ボランティアは放課後等デイサービスの療育活動補助や園舎周りの環境整備等の申し入れを受けた

⑤ 人材の確保・人材の育成

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
人材育成のための関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受け入れ（高校、短大、専門学校、社会人等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・短期大学の保育士実習生1名と福岡子ども専門学校1名、中堅教諭等資格向上研修（特別支援学校教諭）1名の実習を受け入れた ・他施設の実習で来ていた県立大学福祉学科の学生1名・県大大学院生の1名見学実習を受け入れた
職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会、勉強会を実施し、終礼や会議等での復命 ・内部研修での行動基準や倫理綱領の読み合わせ ・法人内研修の参加 ・積極的な外部研修の参加（オンライン研修を含む） ・児童発達支援士をはじめとした、資格取得の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会や勉強会に参加したことを終礼や会議等で復命している ・行動基準や倫理綱領の読み合わせを行い、事故を振り返る機会を設け必要に応じて改善することで資質の向上につなげている ・資格取得について個人的にオンライン研修を受け、県社協の研修セミナーに参加し、資格取得に努めた ・職員にアンケートし、資格取得の希望をとり2名が取得したが今後も嘱託職員を含め希望に沿って資格取得の推進をしていきたい
教育研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な外部研修への参加（オンライン研修を含む） ・各種マニュアルの再確認と周知徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携教育研修・児童発達支援管理責任者更新研修・福祉・教育・保健関係機関研修・子ども発達支援部会研修・研修部会研修・山口発達臨床支援センター発達検査について研修等や休日や時間外に実施された研修に参加 ・オンライン研修は積極的に取り入れ職場で受講した（現場に支障のないように配慮） ・マニュアルの見直しについては必要に応じて確認しているが職員全員への徹底はできていない

⑥ 魅力ある職場づくり

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
ワークライフバランスへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・振替休日の適正な取得（1か月以内の取得を周知） ・年次有給休暇取得推進 ・夏期休暇100%取得 ・メンタルヘルスの推進（相談しやすい職場づくり） 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の欠如はあるが職員個々の希望に沿うようオンライン研修を取り入れ休日や退社後の研修参加を希望すれば振替や時間外で対応する等の配慮をしている ・年次有給休暇5日以上取得について職員不足のため休暇を取るのが困難な状況で一部職員が達成できていない ・夏季休暇完全取得についてほぼ達成できた ・メンタルヘルスの推進について長期休暇1名出たことからまだまだ十分な体制と環境づくりが必要である

自己啓発の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が希望する研修参加のための勤務配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の欠如はあるが職員個々の希望に沿うようオンライン研修を取り入れ休日や退社後の研修参加を希望すれば振替や時間外で対応する等の配慮をしている
風通しのよい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長等による定期的なヒアリングや職場内アンケートを実施し職員の考えや意見を把握し課題解決に努める ・会議等で定期的な話し合いの場をつくる ・懇親会等を設定し何でも話せる関係性をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期に事業計画を考えるためアンケート調査を実施し、事業に関する意見が多く把握できたので今後の業務に生かせるよう努めたい ・嘱託職員を含めた資格取得や専門知識、技術を高めるための研修等を計画的に取り入れる必要がある ・前期は誰もが遠慮なく意見を発言できる環境や雰囲気ができなかったが、後期になり誰もが遠慮なく自分の考えを発言できるようになった ・懇親会を企画し実施しているが全員参加が困難で参加者に偏りがある
職員体制・連携強化への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センター又は放課後等デイサービスの職員が不足した場合、協力体制で業務を遂行 ・事態に備えて緊急連絡網の徹底とマニュアル作成や計画立案 	<ul style="list-style-type: none"> ・何らかの事情で放課後等デイサービス、児童発達支援センターの職員が不足した時はお互いが協力して助け合っている また、他施設からの協力を要請している ・緊急連絡網は作成し職員に徹底し、緊急対策マニュアルについては職員の入れ替わりがあったので再度全員で確認し徹底する必要がある

⑦ 経営基盤の安定・強化

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
経営改善のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業所やその他関係機関等との連携を図る ・安定したサービスの提供を行い、各種加算などの報酬取得に努める ・合理的な業務の遂行（無駄を省く等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業所とその他関係機関等との連絡調整に努めた ・8月中旬から9月末まで体調不良のため職員が長期休暇に入り、9月に正規職員の異動があり常勤職員の安定したサービスの提供することが困難となり各種加算の取得が不安定となったが、更に新しい利用契約ができないことが続いた ・職員の不足のため保育所等訪問支援事業が思うように実施できなかったため、業務の合理性を考慮することも困難な職員状況が持続している
経営意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等で収支報告を行い、職員個々の経営意識を高める ・毎月の実績報告書を回覧し、視覚的に職員の意識付けをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書の予算などについてはいつでも閲覧できるようにしている ・毎月の実績報告を行い、結果を回覧することで経営意識を高めることにつなげているが職員個々の経営意識に大きく差があるため具体的な数値を示すなどの意識づけが必要である

予実管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に予算と実績を見直し差異やズレが生じた時は課題を明確にして対応する 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定していた収入の実績は 90%で、利用予定児の欠席や職員不足のため加算が取れないことや利用契約を増やすことができなかった
---------	---	--

⑧ コンプライアンスの徹底

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
コンプライアンスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスについて意識付けのため倫理綱領や行動基準の読み合わせ ・階層別研修等への積極的参加 ・組織としての 1 員であることの意識向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動基準を毎週、倫理綱領を毎月読み合わせすることで自己の振り返りを行った ・階層別研修は職員が不足がちであったが職員の配置基準を満たしながらできるだけ参加できた。 ・オンラインでの研修は非常勤職員を含め積極的に参加した ・チームでの業務遂行しているため常に報告・連絡・相談に努めることで組織の一員としての意識を高めた
労務管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ノー残業日の推進と、時間外勤務の削減意識を高める ・休憩時間の完全取得の徹底 ・休日出勤や時間外勤務について事前申請を徹底する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノー残業ダイの意識づけのため月予定表に文字を掲示している 意識付けにはなっているものの実行が困難であり、時間外勤務が特定の職員に集中しているため業務内容や分担の改善が重要である ・休憩時間の完全取得は交代制で休憩を取るようになっているが、昼食を取りながら記録や連絡帳の記入をしているため休憩が十分取得されているとは言えない ・休日出勤に関しては事前申請を徹底しているが休日当日になってメールが入ってくることもあるため事前申請を徹底する必要があるし、時間外に関しては急を要しない限り計画的な申請が出されている

⑨ 防災・防犯対策の強化

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
定期の防災訓練、防犯訓練実施	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練実施 (1 回/月) ・合同防災訓練 (1 回/年)、防犯訓練 (2 回/年)、土砂災害訓練の実施 (2 回/年) ・災害時を想定した保護者への引き渡し訓練を実施 ・防災・防犯マニュアルの確認と整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画通り火災・自然災害不審者侵入時の避難訓練を実施した ・保護者への引き渡し訓練を児童発達支援センター、放課後等デイサービス共に 6 月 28 日に実施した ・消防への通報訓練も実施 ・市との伝達訓練は 6 月 4 日に実施した ・防災・防犯マニュアルの確認をしている
災害協力・安全協力体制の推進と整備	<ul style="list-style-type: none"> ・防府市愛光園、防府市大平園と連携し災害時の対応マニュアルを確認・整備し、常に情報交換を行い、災害に備え瞬時に対応できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・8 月の台風や 1 月の積雪等の対応について防府市愛光園や防府市大平園・事務局との連携を図りながら対応した ・感染症 BCP、自然災害 BCP を作成し職員全員で確認した

4 利用状況

①利用者月別在籍状況(児童発達支援センター)

(単位 人・日)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日 在籍	男	37	37	37	37	38	37	38	38	40	41	41	44	465
	女	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	9	106
	計	46	46	46	46	47	46	47	47	49	49	49	53	571
開所日数		21	21	20	22	17	19	22	20	20	19	18	20	239
児童発達(20) 延べ人数		349	377	365	357	292	329	380	332	330	308	295	347	4,061
保育所等訪問		10	17	16	16	5	9	14	13	12	19	16	14	161
合計利用 延べ人数		359	394	381	373	297	338	394	345	342	327	311	361	4,222

②利用者月別在籍状況(放課後等デイサービス)

(単位 人・日)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日 在籍	男	20	20	20	20	20	20	20	17	16	17	17	17	224
	女	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	105
	計	28	28	28	29	29	29	29	26	25	26	26	26	329
開所日数		21	21	20	22	17	19	22	20	20	19	18	20	239
放デイ(10) 延べ人数		168	179	169	199	136	158	194	153	158	149	156	170	1,989
日中一時 延べ人数		63	11	14	27	1	28	9	9	26	23	9	23	243

5 主な事業の利用率

事業名	定員(人)	利用延べ人数(人)	利用率(%)	備考
児童発達支援	20	4,061	84.9	前年度比：102.6%
保育所等訪問支援	—	161	—	前年度比：255.5%
放課後等デイサービス	10	1,989	83.2	前年度比：102.3%
日中一時支援	—	243	—	前年度比：120.2%

6 実施行事及び参加行事

実施月	実施・参加行事	参加人数(人)	備 考
4 月	保護者総会	保護者 11 人	
5 月	親子遠足	園児 19 人 保護者 32 人	山口きらら博記念公園
6 月	前期健康診断	内科 14 人 歯科 14 人	内科：くらしげ小児科 歯科：ドレミ歯科
7 月	まりふ福祉祭り	職員 2 人	的当てゲーム
8 月	親子クッキング	園児 18 人 保護者 19 人	カレーライス フルーツポンチ
9 月	やはす苑慰問	園児 7 人 職員 3 人	手作りプレゼント 歌体操・ダンス
10 月	親子レクリエーション	園児 11 人 保護者 13 人	サンライフ防府体育館
11 月	ふれあい保育	園児 16 人	瑞祥幼稚園
11 月	後期健康診断	内科 23 人 歯科 22 人	内科：くらしげ小児科 歯科：ドレミ歯科
12 月	大掃除	児発保護者 10 人 放デイ保護者 4 人	
12 月	クリスマス会	園児 11 人 家族 29 人	身障センター
令和 7 年 1 月	どんど焼き	園児 16 人	
令和 7 年 2 月	節分豆まき	園児 19 人	
令和 7 年 3 月	1 年生おめでとう会	卒園児 12 人 保護者 17 人	

7 地域貢献活動、職員研修等について

地域貢献活動

- ・小学生に対して読み聞かせ
- ・養護老人ホームへの慰問（高齢者との交流）
- ・ボランティア活動の受け入れ
- ・学生実習や社会人実習を受け入れ
- ・通級指導教室研修会に講師を派遣

職員研修状況

【内部研修】

- ・毎月実施 行動基準・倫理綱領の読み合わせ・虐待防止等に関すること
- ・6 月 ほのぼのケース種別の使用方法
- ・7 月 山口県障害者発達支援センターまっぷ研修・県委託事業について
- ・8 月 ABA 支援方法について・コンサルテーション事業について・山口県障害者発達支援センターまっぷ研修
- ・9 月 職員配置、休憩について・コンサル同行訪問復命
- ・10 月 山口県障害者発達支援センターまっぷ研修
- ・12 月 山口県障害者発達支援センターまっぷ研修
- ・令和 7 年 1 月 感染症対策 BCP 読み合わせ
- ・令和 7 年 2 月 山口県障害者発達支援センターまっぷ研修
- ・令和 7 年 3 月 AED 使用方法・感染症対策委員会復命・自然災害 BCP の読み合わせ

【オンライン研修】

- ・4月 報酬改定について
- ・5月 虐待防止の義務化・身体拘束の適正化について・YPU 保育者ステップアップセミナー・前向きに働くためのモチベーションアップ・自閉症の強度行動障害の事例と理解について・自閉症の基本について
- ・6月 形骸化しない個別計画の書き方・ABA について・YPU 保育者ステップアップセミナー
- ・7月 YPU 保育者ステップアップセミナー
- ・9月 虐待研修・ABA の考え方について・YPU 保育者ステップアップセミナー
- ・10月 虐待研修・ハラスメントについて・YPU 保育者ステップアップセミナー
- ・11月 YPU 保育者ステップアップセミナー
- ・令和7年1月 YPU 保育者ステップアップセミナー
- ・令和7年2月 ABA について (LITALIKO)
- ・令和7年3月 YPU 保育者ステップアップセミナー

【外部研修】

- ・6月11日 メンタルヘルスマネジメント (藤中)
- ・6月7～18日 キャリアアップ研修 (永田)
- ・6月28日 子ども発達支援部会研修 (山本・藤中)
- ・7月12日 研修部会 (佐々木)
- ・7月22日 研修部会 (雨澤)
- ・7月23～24日 相談支援従事者初任者研修 (藤中)
- ・7月26日 山口県障害者発達支援センターまっぷコンサルテーション同行訪問研修 (山本・雨澤)
- ・7月27日 ペアレントメンター養成研修 (佐々木・永田)
- ・7月29日 幼保小中学校校内コーディネーター研修会 (山本)
- ・8月1～2日 キャリアアップ研修 (雨澤)
- ・8月19日 防府市保幼小連携教育研修会 (山本)
- ・8月26日 防府市通級指導教室研修会 (古谷講師)
- ・9月20日 子ども発達支援部会研修 (藤中・佐々木・山本)
- ・9月19日～20日 リーダー研修 (田島)
- ・10月9日～10日 相談支援研修会 (田島)
- ・10月10日15日 コンサルテーション研修 (藤中・藤野・田島)
- ・10月16日17日 児発管研修 (牧野)
- ・10月23日24日 強度行動障害者支援者研修基礎 (藤野)
- ・11月5日 親亡き後を考える (佐々木・田村・脇村)
- ・11月8日 自立支援協議会研修部会研修 (山本・佐々木・田村・藤中)
- ・11月19日 山口県知的障害施設福祉振興大会 (山本)
- ・11月22日 要保護児童地域対策協議会研修 (石丸・藤中・山本)
- ・11月27日 障害児支援者研修 (山本)
- ・11月29日 児童発達支援部会研修 (有富・山本)・川間先生講演会 (田村・脇村)
- ・12月4日 虐待防止研修 (牧野)
- ・12月5日 子ども発達支援部会研修会 (田村・脇村・山本)
- ・12月11日12日 相談支援従事者研修 (田島)
- ・12月26日 防府市保幼小連携教育研修会 (山本)
- ・令和7年1月28日 苦情解決研修 (牧野)
- ・令和7年1月31日 障害者虐待防止徹底研修 (牧野)
- ・令和7年2月7日 研修部会研修 (古谷・田村・脇村)
- ・令和7年2月14日 子ども発達支援部会研修会 (山本・藤中)
- ・令和7年2月21日 研修部会研修会 (石丸)

施設名	防府市わかくさ園
-----	----------

主な実施事業	生活介護
	日中一時支援

1 事業実施状況(総括)

利用者ひとり一人の人権や健康を大切にし職員ひとり一人が、日々の関わりを基調とした支援に努めました。人権については、個々の自主性を可能な限り受け止めることにより、ふれあいを通して特性を細かく把握することで、ひとり一人が自信を持って活動することが

できるように、利用者に寄り添った機会を提供することにより個々の特性に合った適切な支援を効果的に行うことができました。特に、変化にいち早く気がつくことができる力を職員間で共有し支援の漏れがないように努めました。

健康づくりにおいては、理学療法士や看護師からのアドバイスを基に、その日の体調の変化をいち早く把握し適切な方法で運動訓練の参加にすることで、本人に無理なストレスにならないように工夫をしながら飽きない内容の訓練に努めました。

常に利用者との対話を重点とした支援により、利用者自身に自信と勇気が持てるようになり有意義な園生活が送れるようになり、本人が安心して過ごせ、ゆとりのある環境が作れました。また、連絡帳を活用することで保護者からの情報を共有することで安心・安全が保て、日々の利用者の健康維持と情緒の安定に努めました。

2 事業別実施状況(実施内容・成果・評価)

① 生活介護事業

- ・個々の状況に合わせた細かな支援をすることでストレスフリーの維持に努め、円滑な生活ができるように自主性を尊重し各自が自信を持って出来ることを増やすことで利用者に寄り添った支援を行いました。

- ・利用者個々の人権を守るために、自己決定の場面では利用者に分かりやすく説明をすることと同時に個々からの意思表示をしっかりと受け止めて正確に理解し、把握することでコミュニケーションに努めることで利用者自身の尊厳を守ると同時に信頼関係の構築に努めることができました。

- ・健康づくりにおいては、個々の体力維持を基本としたメニューに沿って理学療法士や看護師と相談をしながら日々の体調を把握し健康面に配慮したストレスのないように取り組みをすることで健やかな日常生活が遅れました。

- ・日常生活においては、利用者の変化に、いち早く気づくよう努め、対話をする機会を設けたことで不安などを少しでも軽減できるように分かりやすく丁寧に説明することができ利用者との距離が近くなりました。

- ・保護者と毎日の連絡帳でのやり取りにより日々の状況をリアルタイムで共有することができたことで、より細やかな意思疎通ができました。

② 日中一時支援事業

- ・セーフティネット機能として、支援学校在学の生徒・児童の登校までのレスパイトケア及び学校まで送迎支援を提供しました。
- ・支援学校の送迎中の情緒不安定等により安全上、送迎バス利用が困難な方を当園が単独で送り届けることで本人の情緒安定につながり問題を解消することができました。
- ・事業内容の充実と個別対応を推進することで保護者や本人に安心感が持てる場としての機能を果たすことができました。

3 取り組み報告

① 人権擁護の徹底

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
人権尊重と虐待防止の意識の徹底	・人権侵害及び虐待防止のセルフチェックを実施する(3回/年)	・気づきや疑問に思ったことをその都度、改善できるように職員間で話し合い、共有し、チェックシートを使って意識の向上を図った ・見えなかったことを可視化し、利用者が過ごしやすい環境を作ることができたが、職員の言葉使いで気になる場面には、その都度、指摘することでいち早く改善し見えない侵害にならないように努力した
苦情・相談への適切な対応	・苦情、要望、意見相談受付箱を設置し随時対応する ・苦情解決委員会の開催をする(1回/年)	・毎日、連絡帳を活用することで保護者からの疑問や利用者の体調を共有することで安心・安全を提供でき素早い対応ができた ・日々の生活において見えないことも出てくるので引き続き保護者とのコミュニケーションに努め、より信頼関係を築くことができた
障害者差別解消法への対応	・職場内研修で実施する ・外部研修への参加をする	・会議の中でリーフレットを使い差別意識について話し合い理解と周知徹底した
利用者の財産の適正な管理と権利の行使	・管理方法の確認と適正な行使の徹底をする ・誕生会の徴収金の管理をする(誕生月毎)	・昼食のチケット代や誕生会の徴収を可視化するために集金袋を作ることで保護者との確認ができた

② 支援・サービスの向上

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
安心・安全な支援の提供	・ヒヤリハット事例の確認及び改善をする(随時) ・感染症への対応をする	・些細なことでも常に職員間で共有し協議するように周知徹底をし、共通認識をすることができ安全・安心に努めた
支援技術の向上	・外部研修の参加や支援会議にて検討する(随時)	地域総合支援協議会研修部会に参加することで支援技術の向上に努めた
提供サービスの点検	・サービスの評価を(支援会議にて)検討する	・会議において支援状況を振り返り、支援技術の向上に努めた

生活環境の充実	・清拭用ウェットタオル、手指消毒による衛生管理をする	・感染予防は、引き続き徹底することで安心を提供することができ、生活環境の充実に努めた
創意工夫による業務の改善	・訓練及び作業効率の改善をする ・職員提案を随時受け付けて改善をする	・職員、すべての利用者に同じ方法で伝えるのではなく個々の利用者に沿った分かりやすい支援を創意工夫しながら提供をすることができた
地域と利用者の交流促進	・園行事等への参加協力をお願いする	・他施設が外部行事に積極的に参加し利用者との交流を深めた
セーフティネット機能の推進	・相談支援事業所及び関係施設並びに関係機関との情報共有をする	・日中一時支援において、セーフティネット機能を活用することで保護者の方の様々な負担軽減の解消等に努めた
地域生活支援	・関係施設及び関係機関との連携協力をする	・随時、情報共有を図り、相談やアドバイスを受けることで関係機関との連携に協力した
個人情報保護の徹底	・個人情報管理の徹底と職員への周知徹底をする(職員会議にて)	・職員会議の中で、周知徹底を行った

③ 施設機能の地域提供

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
社会資源としての地域提供	・社会貢献活動の実施をする(地域環境清掃)	・今年度は、実施できなかった
ライフステージに対応したサービス調整	・防府総合支援学校生の積極的な実習の受け入れをする ・相談支援専門員との連携をする	・実習の充実を図れるように教職員を通じて本人や家族の意向を確認しながら努めた
多様な福祉サービス事業の提供	・防府総合支援学校生の積極的な実習の受け入れの促進をする	・支援学校の進路説明会を通じて当園の概要を丁寧に説明するなど支援学校との連携を積極的に行い実習生の受け入れをスムーズに行った

④ 地域とのコミュニケーション

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
地域への情報発信と協力	・ホームページの掲載の充実をする	・事業団ホームページによる情報発信を行った
参画・政策提言	・防府市総合支援協議会等の研修への参加をする	・今年度は、実施できなかった
地域貢献活動の推進	・社会貢献活動の実施をする(地域環境清掃)	・近隣の小学校に出向いて各テーマを選択し「読み聞かせ」のボランティアとして職員を派遣し実施することで、子どもたちに創造力等を養えるように努めた

⑤ 人材の確保・人材の育成

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
人材育成のための関係機関との連携	・関係機関との連携した積極的な実習の受け入れをする	・関係機関との連携を密にすることで積極的な実習の受け入れを行った
職員の育成	・勉強会の実施や研修復命の報告の共有をする（職員会議等）	・職員会議にて振り返りを行うことで意識の徹底と確認を行った
教育研修の充実	・外部研修への参加をする	・今年度は、参加できなかった

⑥ 魅力ある職場づくり

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
ワークライフバランスへの配慮	・年次有給休暇取得の推進及び夏季休暇取得率 100%を実施する	・夏季休暇については、100%達成 ・年次有給休暇についても職務に負担にならないように調整を図り、概ね職員の意向に沿った取得ができ、振替休みも遅滞なく早めの処理ができた
自己啓発の促進	・自己啓発研修の情報提供をする	・職員会議の中で、情報提供を行った
風通しのよい職場づくり	・情報共有への環境の場を提供し意見交換の実施をする	・何でも話せる環境が保てるように、職員間での意見交換を行うことで働きやすい環境に努めた
職員体制・連携強化への取り組み	・職員間での連携を密にし、状況毎に話し合いをする	・職員間での連携を密にし場面毎に話し合いができるよう意見交換を行うことで可視化することができた

⑦ 経営基盤の安定・強化

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
経営改善のための取り組み	・経費削減(エコ化 [※] 、公用車の共同使用)の実施をする	・公用車の共同利用など共有できることは実施し、こまめな節水・節電の実施をし備品等などは可能な限り補修し工夫をするように努めた
経営意識の醸成	・利用状況、定期的な収支報告の周知をする（職員会議）	・職員会議の中で周知徹底を行った
予算管理の徹底	・適時、予算管理を周知し確認する（職員会議）	・職員会期の中で確認し周知徹底を行った

⑧ コンプライアンスの徹底

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
コンプライアンスの推進	・コンプライアンスについて周知徹底をする（職員会議）	・職員会議の中で確認し周知徹底を行った
労務管理の徹底	・働き方改革の実践の徹底をする（職員会議）	・職員会議の中で確認し周知徹底を行った

⑨ 防災・防犯対策の強化

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
定期的防災訓練、防犯訓練実施	・避難(2 回/年)、防犯(1 回/年)、防災(高潮避難)訓練を実施する	・火災発生状況を設定し、安全に避難誘導ができたかの振り返りを行った
災害協力・安全協力体制の推進と整備	・合同防災訓練の実施をする(1 回/年) ※身障センター内事業所合同	・身障センター内の各施設が合同で行うことで協力しながら実施した

4 利用状況

①利用者月別在籍状況

[生活介護] (20)

(単位 人・日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日 在籍	男	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
	女	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	102
	計	18	18	18	18	18	18	19	19	19	19	19	222
開所日数	21	21	21	22	19	19	23	20	20	19	18	20	243
利用延べ人数	277	271	274	269	190	227	287	261	241	247	235	271	3,050

[日中一時支援]

(単位 人・日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日 在籍	男	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	45
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	計	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	57
開所日数	21	21	20	22	16	19	22	20	16	18	17	18	230
利用延べ人数	33	39	40	38	25	35	41	31	24	30	32	31	399

5 主な事業の利用率

事業名	定員(人)	利用延べ人数(人)	利用率(%)	備考
生活介護	20	3,050	62.7	前年度比：100%
日中一時支援	—	399	—	前年度比：190%

6 実施行事及び参加行事

実施月	実施・参加行事	参加人数(人)	備考
6月1日	防府市障害者体育大会	10	保護者3名も参加
6月3日	避難訓練(火災)	12	
6月21日	ボウリング招待	14	
7月20日	まりふ福祉まつり	—	「金魚すくい」出店
10月7日	華浦小読み聞かせボランティア	—	
10月19日	愛とふれあいの集い (ライオンズクラブ招待)	10	
11月12日	交通安全教室	12	
11月18日	防犯訓練(不審者対応)	14	
11月26日	日帰りバス遠足	13	
12月9日	避難訓練(火災)	14	
12月21・22日	障害者ふれあい芸術展		作品出展
12月24日	クリスマス会	15	
2月3日	節分	14	

7 地域貢献活動、職員研修等について

- ・10/7：華浦小学校読み聞かせボランティアに参加
- ・虐待防止身体拘束研修

施設名	ホームヘルパーセンター
-----	-------------

主な実施事業	指定居宅サービス	訪問介護
	介護予防・日常生活支援サービス	訪問型サービス (予防給付型)
	指定居宅介護支援	居宅介護支援
		介護予防支援
	障害福祉サービス	居宅介護
		同行援護
		特定相談支援 障害児相談支援

1 事業実施状況(総括)

利用者主体の意識のもと、ニーズの把握に努め、効率的なサービスになるようケアマネジメント及び支援を心がけました。また、実施地域外でのサービスについては、セーフティネットとしての役割を持った存在であることを自覚し、居宅介護支援、訪問介護が一体となったメリットを生かし、連携を密にし効果的なサービスになるよう努めました。

2 事業別実施状況(実施内容・成果・評価)

①訪問介護事業（介護保険・障害福祉）

事業計画に沿い訪問介護事業を実施しています。利用者の状況やニーズにより制度外サービスを併用しながら利用者の生活が充実したものになるよう考慮しました。また、長時間を要する通院介助や同行援護が確実にできるよう職員配置、時間調整を行い、他の利用者に迷惑がかからないよう努めました。

②居宅介護支援事業（介護保険）

事業計画に沿い居宅介護支援事業を実施しています。季節の変わり目などは利用者の入院が多く、退院時には利用者の状況把握に努め、必要なサービスを見極めながら提案し、利用者や家族が安心できるサービス計画になるよう努めました。

③相談支援事業（障害福祉）

事業計画に沿い相談支援事業を実施しています。利用者に対するサポートにより、利用者、家族が安心して日常生活が営めるよう、また、利用しているサービス（デイサービス等）との連携により、利用者の生活が充実したものになるよう努めました。

3 取り組み報告

① 人権擁護の徹底

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
人権尊重と虐待防止の意識の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 職員セルフチェックの実施 虐待防止委員会の開催 虐待防止マニュアルの確認 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員（登録含む）2月に実施した 6月・1月に実施した 6月・1月に確認した

苦情・相談への適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱の設置：苦情、要望、虐待について ・苦情解決委員会の開催 ・苦情等あればマニュアルに沿って対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実績はなかった ・10月に開催した ・苦情につながるものはなかった
障害者差別解消法への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修の実施 ・リーフレットの掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・11月に実施した ・継続的にリーフレットの掲示を行った
利用者の財産の適正な管理と権利の行使	<ul style="list-style-type: none"> ・管理方法の確認と適正な行使の徹底 ・財産管理が必要な場合は、後継人の選定をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当利用者なし ・該当利用者なし

② 支援・サービスの向上

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
安心・安全な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策委員会の実施 ・職業性ストレスチェックの提出 ・腰痛対策、4S活動、KY活動の研修により労働災害防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月、12月に実施した ・6月に実施した ・2月に実施した
支援技術の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修への職員派遣 ・定例研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県訪問介護事業所連絡協議会の研修へ参加した ・訪問介護員、毎月1回実施した
提供サービスの点検	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の実施(2回/年) ・職員会議・定例研修会での情報共有により、より良いサービス提供に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月、3月に実施した ・介護支援専門員、訪問介護員の立場から積極的に意見交換を行った
生活環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の事務所は鉄筋、スレートのため、夏は暑く冬は寒いので、創意工夫し快適な生活空間を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣類で調節し、エアコン、サーキュレーターを使用し、職場環境の改善に努めた
創意工夫による業務の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・登録職員の提出書類(実施記録・集計表)に提出期日を設け、請求業務の効率を図る ・事務連絡をスマートフォンアプリで確実、迅速に行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出期限に書類が揃い、効率的に請求業務を行った ・全職員対象にグループ設定し、確実に事務連絡を行った
地域と利用者の交流促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民から相談があった時には、介護支援専門員が地域包括支援センターにつなげる相談窓口として情報提供を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民から利用者に対する相談等があり、その都度説明を行い、必要時には地域包括支援センターへ連絡するなどの対応した
セーフティネット機能の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬単価の低い障害福祉、介護予防も調整しながら受けていく ・通常の事業実施地域以外の依頼も受けていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護では、時間調整等を行えるだけ受諾した ・居宅介護支援では、担当職員の調整を行いながら出来るだけ受諾した ・居宅介護支援、訪問介護ともに依頼があり受諾した
地域生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・自立した日常生活、社会生活が営めるように、地域の特性や利用者の生活状況に応じて人格と個性を尊重した援助に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長、民生委員等との情報共有、近隣住民との交流を行い、安心して在宅生活を営めるよう努めた
個人情報保護の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理の徹底を職員会議・定例研修会にて周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議・定例研修会毎に周知を図った

③ 施設機能の地域提供

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告 (内容・評価)
社会資源としての地域提供	・一般市民へ介護保険、障害福祉等の情報提供や相談を行う	・制度や利用できるサービス等の問い合わせがあり情報提供を行った
ライフステージに対応したサービス調整	・介護・相談支援-障害福祉（児）から介護保険対象者まで ・訪問介護-障害福祉（児）から介護保険対象者まで	・介護・相談支援-若年から高齢者まで幅広いケアマネジメントを行った ・訪問介護-幅広い年齢に対しサービスを提供した
多様な福祉サービス事業の提供	・介護・相談支援-障害児相談から介護保険対象者まで ・訪問介護-障害児から介護保険対象者まで、同行援護、移動支援対応、制度外は個人契約対応	・若年から高齢者までの包括的なケアマネジメントを実施した ・必要に応じたサービスを幅広い年齢に対し提供し、日常生活の安定と余暇生活の充実に努めた

④ 地域とのコミュニケーション

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告 (内容・評価)
地域への情報発信と協力	・圏域別地域ケア会議への出席 ・センターだよりの配布：（毎月 15 日）	・開催時に 1 名出席した ・毎月 15 日に配布した
参画・政策提言	・サービス調整会議への隔月出席	・開催時には 1 名出席した
地域貢献活動の推進	・地域の自治会活動の参加	・自治会の総会へ参加した

⑤ 人材の確保・人材の育成

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告 (内容・評価)
人材育成のための関係機関との連携	・専門学校からの訪問見学受け入れ（依頼時）	・YIC 看護福祉専門学校からの実習の依頼があり受け入れた
職員の育成	・介護支援専門員協会研修 ・山口県訪問介護事業所連絡協議会研修	・4 名出席した ・代表者 1 名出席した
教育研修の充実	・介護支援専門員協会での情報集及び主任介護支援専門員更新時に必要な研修（4 回以上/年） ・山口県訪問介護事業所連絡協議会での情報収集	・介護支援専門員協会から発信された情報提供を介護支援専門員が共有した ・山口県訪問介護事業所連絡協議会から発信された情報を訪問介護員全員（登録含む）が共有した

⑥ 魅力ある職場づくり

項 目	令和 6 年度計画	令和 6 年度取組状況報告(内容・評価)
ワークライフバランスへの配慮	・年次有給休暇 5 日以上取得 ・夏季休暇の 100%取得	・平均 10.8 日取得 ・常勤全職員取得した
自己啓発の促進	・資格取得の推奨と支援	・介護支援専門員更新研修及び主任介護支援専門員更新研修

風通しのよい職場づくり	・職員間でのコミュニケーションを積極的に行う	・事務所内、スマートフォンアプリ内で積極的に情報共有、コミュニケーションを行った
職員体制・連携強化への取り組み	・職員会議（1回/月） ・サービス提供責任者調整会議（1回/月）	・毎月職員会議を開催した ・毎月開催した

⑦ 経営基盤の安定・強化

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
経営改善のための取り組み	・効率的な業務内容及び時間調整を行う ・パソコン及び周辺機器の適正化、コスト削減 ・購入物品の精査、再利用による経費削減	・毎月訪問介護業務改善会議を開催し、登録職員の業務時間、サービス内容を調整し、効率的な訪問になるよう取り組んだ ・消耗品の管理強化を行った ・事務所内で使用するファイル、用紙などは再利用し経費削減を心掛けた
経営意識の醸成	・介護給付費明細書の常勤職員への回覧	・明細書を回覧し、各事業の報酬額等を共有した
予実管理の徹底	・収支状況の周知を行う	・毎月の利用者数、報酬額の回覧で収支状況を共有した

⑧ コンプライアンスの徹底

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
コンプライアンスの推進	・組織図、業務分担表を提示し、指揮系統を周知する	・常勤職員に回覧後、事務所内に掲示し周知を図った
労務管理の徹底	・就業時間の順守 ・柔軟な休憩時間の取得	・必要な時間外勤務（訪問、担当者会議等）を除き、定時に帰宅することができた ・訪問時間等により取得困難な場合は複数回に分けて取得した

⑨ 防災・防犯対策の強化

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
定期的防災訓練、防犯訓練実施	・タネダ家具店との合同訓練の実施	・タネダ家具店閉店のため実施なし
災害協力・安全協力体制の推進と整備	・商店街との合同訓練の要請	・合同訓練は実施されなかった

⑩ その他

項 目	令和6年度計画	令和6年度取組状況報告(内容・評価)
事業継続計画の作成	・事業継続計画（BCP）の確認、調整、見直し	・職員会議・定例研修会にて見直し、机上訓練等を実施した

4 利用状況

訪問介護事業

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	36	34	35	33	32	31	32	33	33	35	33	32	399
訪問型サービス	33	32	31	32	34	32	33	32	32	30	30	29	380
居宅介護	8	9	8	9	10	8	8	8	7	8	10	9	102
同行援護	14	14	12	12	11	12	13	13	12	12	12	11	148
個人契約	12	9	8	11	11	14	11	10	8	10	7	10	121
計	103	98	94	97	98	97	97	96	92	95	92	91	1,150

居宅介護支援事業

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護支援	103	105	102	107	100	102	101	100	101	104	103	106	1,234
介護予防支援	62	59	57	56	56	56	55	53	52	52	50	50	658
計	165	164	159	163	156	158	156	153	153	156	153	156	1,892

障害者・障害児相談支援事業

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談支援	8	4	9	12	10	15	9	15	15	12	15	15	139
児童相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ケース数	30	29	28	27	36	41	42	57	65	65	65	65	550

5 主な事業の利用率

事業名	定員(人)	利用延べ人数(人)	利用率(%)	備考
介護・訪問介護	—	399	—	前年度比：109.3%
介護・訪問型サービス	—	380	—	前年度比：91.3%
居宅介護・同行援護	—	250	—	前年度比：85.3%
居宅介護支援・介護	—	1,234	—	前年度比：97.9%
居宅介護支援・予防	—	658	—	前年度比：88.4%
特定相談支援・障害児相談支援	—	139	—	前年度比：102.9%

6 実施行事及び参加行事

実施月	実施・参加行事	参加人数(人)	備考
7月	まりふ福祉まつり	2	身障センター主催

7 地域貢献活動、職員研修等について

・介護支援専門員更新研修
・主任介護支援専門員更新研修